

熊本商工会議所 2016年経済予測アンケート 調査結果

KEY WORD

- ★景気の現状 … 「変わらない」が39.5%でトップ
「悪化」が減少し、「好転」の割合が増加
- ★景気の回復予測 … 「わからない」が58.0%でトップ
先行き不透明感が続いている
- ★産業別予測 … 【全業種】「変わらない」が38.2%でトップ
「悪化」予測は大幅に減少
「好転」割合が高い業種
【建設業】33.8% 【運輸・通信業】28.8%
「悪化」割合が高い業種
【飲食業】28.2% 【卸売・小売業】27.2%
- ★円市場予測 … 「円安」「円高」「変化なし」ともに同程度
- ★株式市場予測 … 「やや株高傾向」が28.8%でトップ
次いで「やや株安傾向」23.2% 予測が分かれる
- ★経営上の問題点 … 「需要の停滞」が42.9%でトップ
「従業員の確保難」が大幅に増加
- ★経営上の重視点 … 依然として「売上高」「収益」重視の傾向が続く

熊本商工会議所

2015年12月

＜本調査のお問い合わせ＞
熊本商工会議所 会員サービス部 情報調査課
TEL354-6688 FAX354-8890

熊本商工会議所
2016年経済予測アンケート

I N D E X

1. 調査概要	1
2. 景気	2
3. 産業別予測	4
4. 円市場	12
5. 株式市場	14
6. 金利	16
7. 経営の問題点	17
8. 経営の重視度	18

※ 巻末…「2016年経済予測アンケート」調査用紙

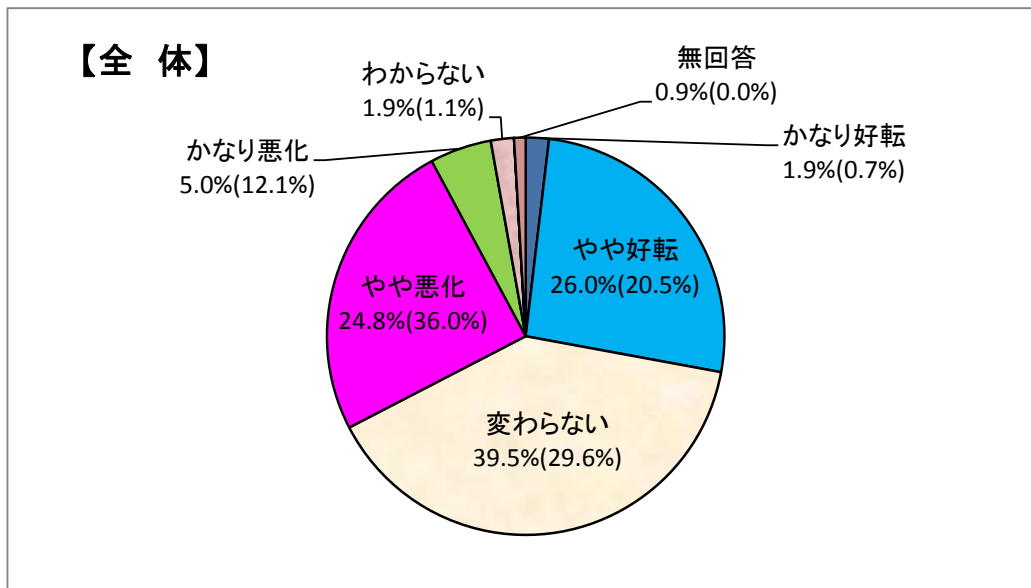
調査概要

1. 調査期間 平成 27 年 11 月 13 日(金)～11 月 20 日(金)
2. 対象者 熊本商工会議所 役員並びに議員 101 名
熊本商工会議所 経営動向調査モニター企業 392 名
(経営動向調査モニター企業は、小規模企業であるため報告書に
おいては小規模企業と表記する)
3. 配布数 493 名
4. 調査方法 調査用紙配布:メール便送付 調査票回収:FAX
5. 回答者数 319 名(有効回答率 64.7%)
6. 調査機関 熊本商工会議所

2015年11月 景気の現状

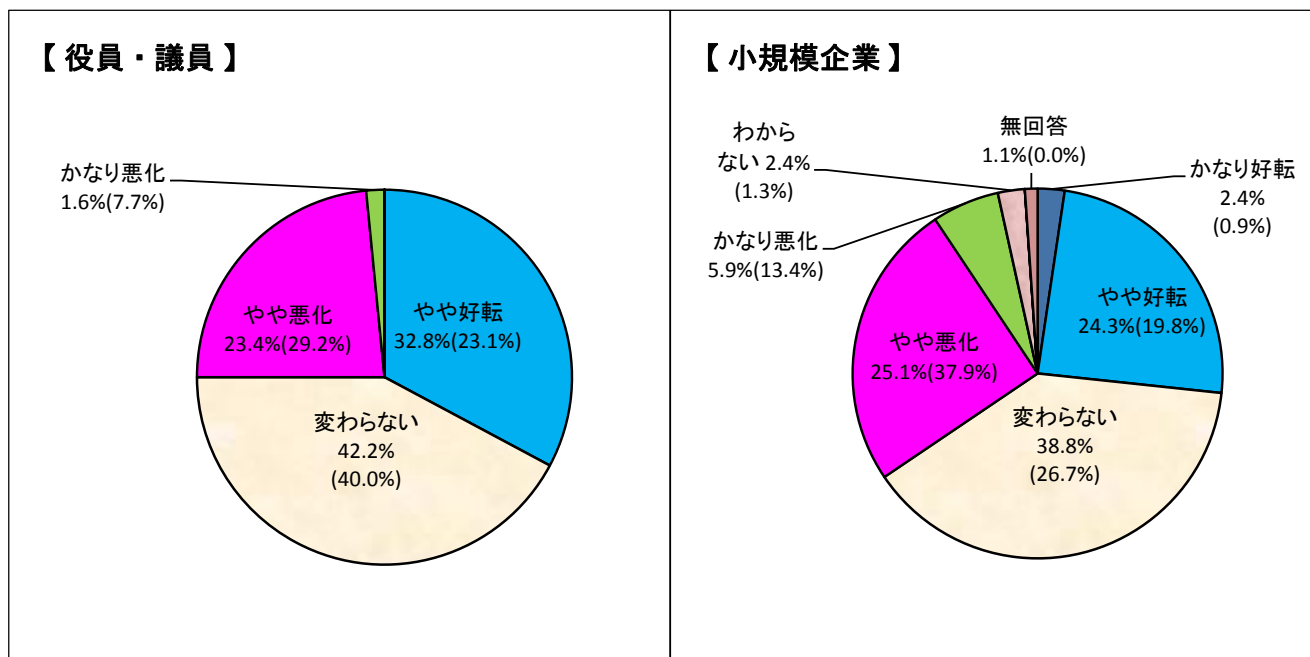
※ グラフの()内は、前年数値

「変わらない」が39.5%でトップ。「悪化」が減少し、「好転」の割合が増加



景気の現状(2015年11月)については、「変わらない」が39.5%でトップ。次いで「やや好転」で26.0%となった。前年に比べ、「(かなり・やや)好転」(以下「好転」と記載)が6.7ポイント増加、「(かなり・やや)悪化」(以下「悪化」と記載)が18.3ポイント減少する結果となった。

2015年11月 規模別の景気の現状

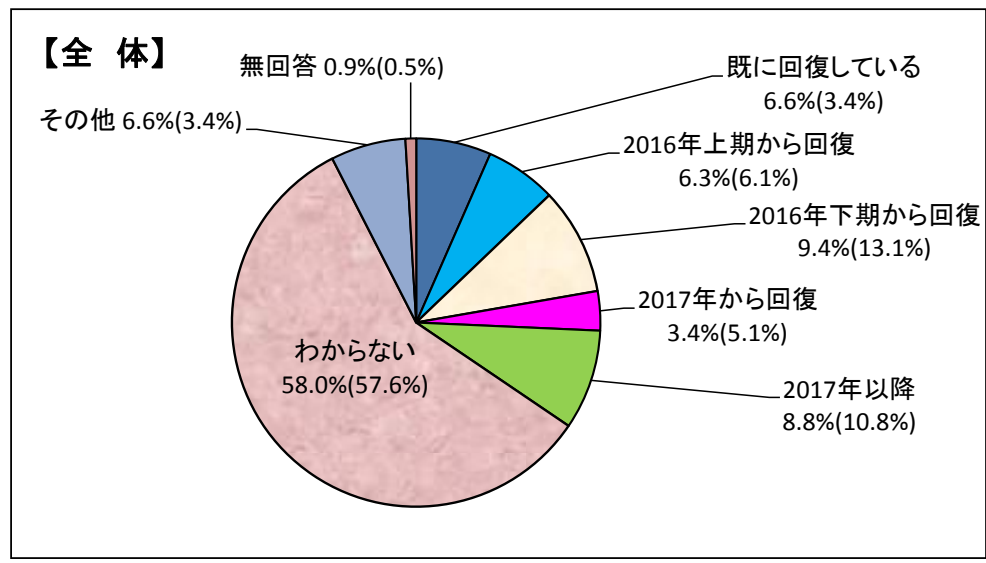


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「好転」と「変わらない」が増加している。一方、「悪化」は減少している。特に【小規模企業】は「やや悪化」が-12.8ポイントの大幅な減少、「変わらない」が+12.1ポイントの大幅な増加となった。

2016年 景気の回復時期

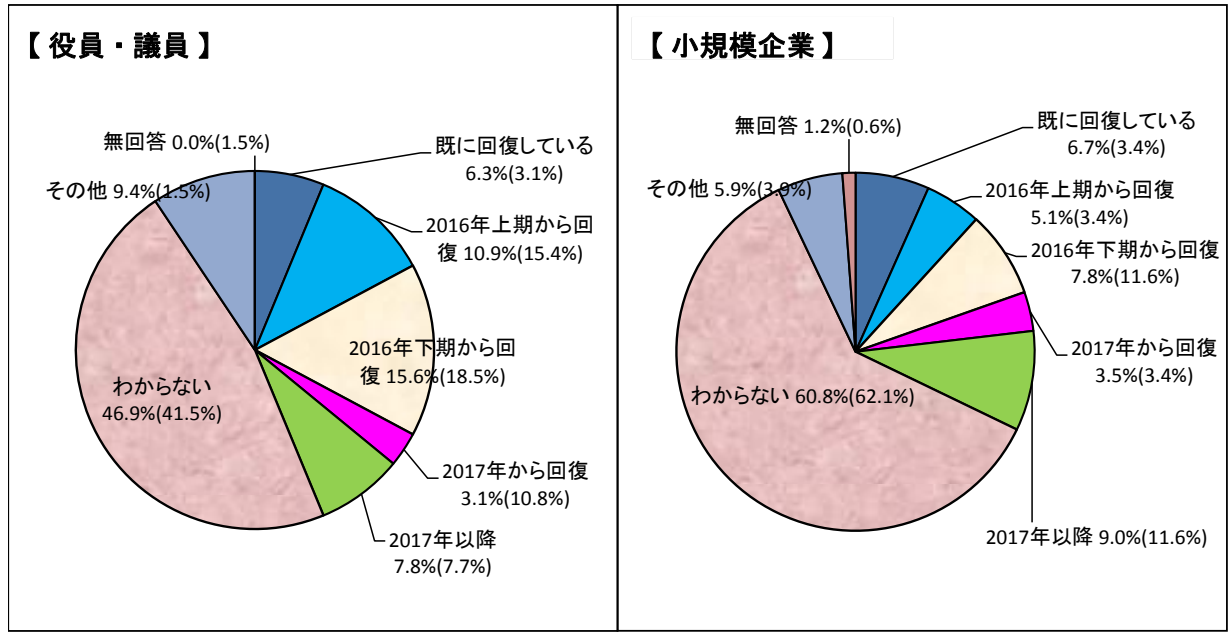
※ グラフの()内は、前年数値

「わからない」が半数以上。先行き不透明感が続いている



「わからない」が58.0%でトップ。次いで「来年(2016年)下期から回復」が9.4%。「わからない」と回答した企業は、3年連続増加している。

2016年 規模別の景気の回復時期

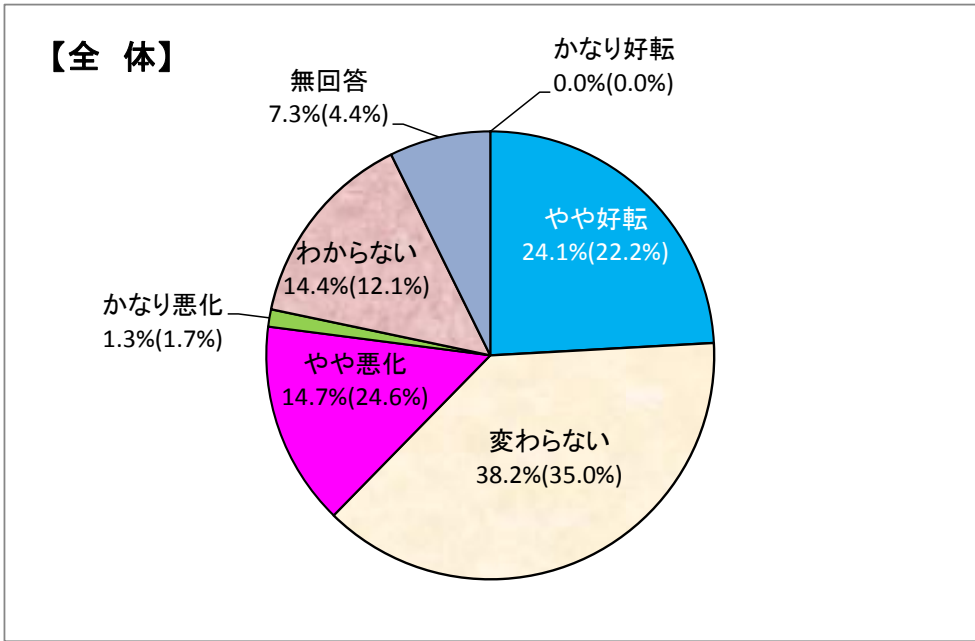


「既に回復している」と回答した企業の割合は【役員・議員】、【小規模企業】ともに6%台であるが、「わからない」と回答する企業の割合は【小規模企業】は60%を超え、【役員・議員】と比べ不透明感が強い結果となっている。

2016年 産業別動向

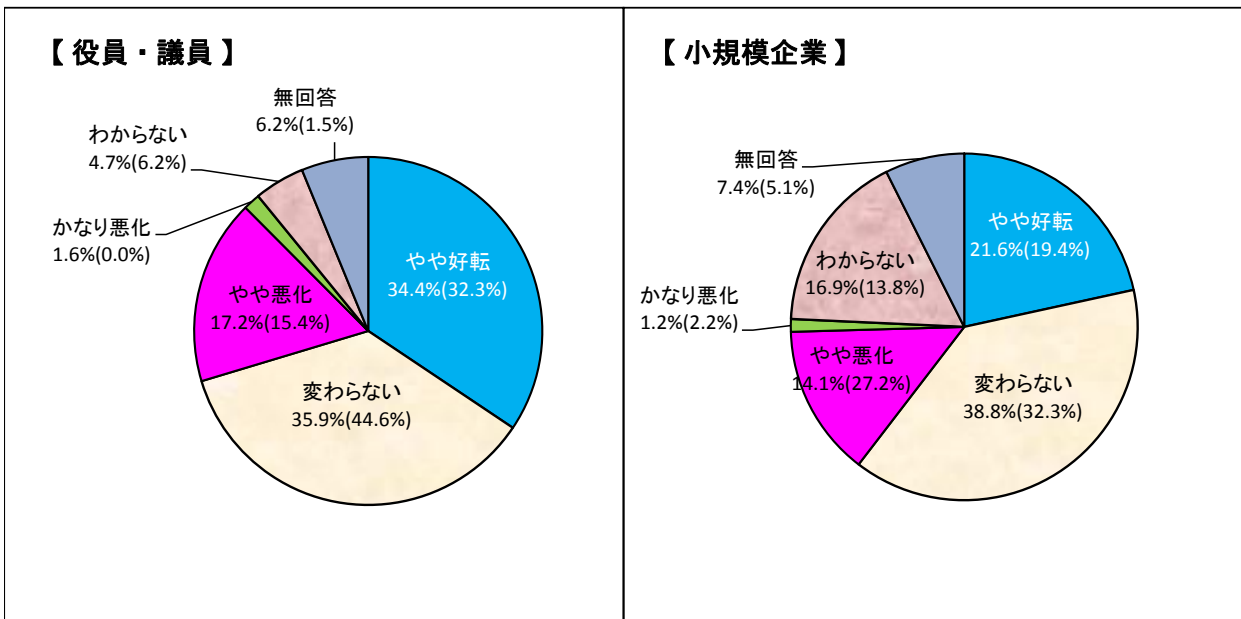
※ グラフの()内は、前年数値

全 業 種



来年の全業種の動向については、「変わらない」が38.2%でトップ。次いで「やや好転」が24.1%。産業全体としては、現状維持か「やや好転」との予測をする割合が増え、「やや悪化」が減少し、明るい兆しが見える結果となった。

規模別の動向

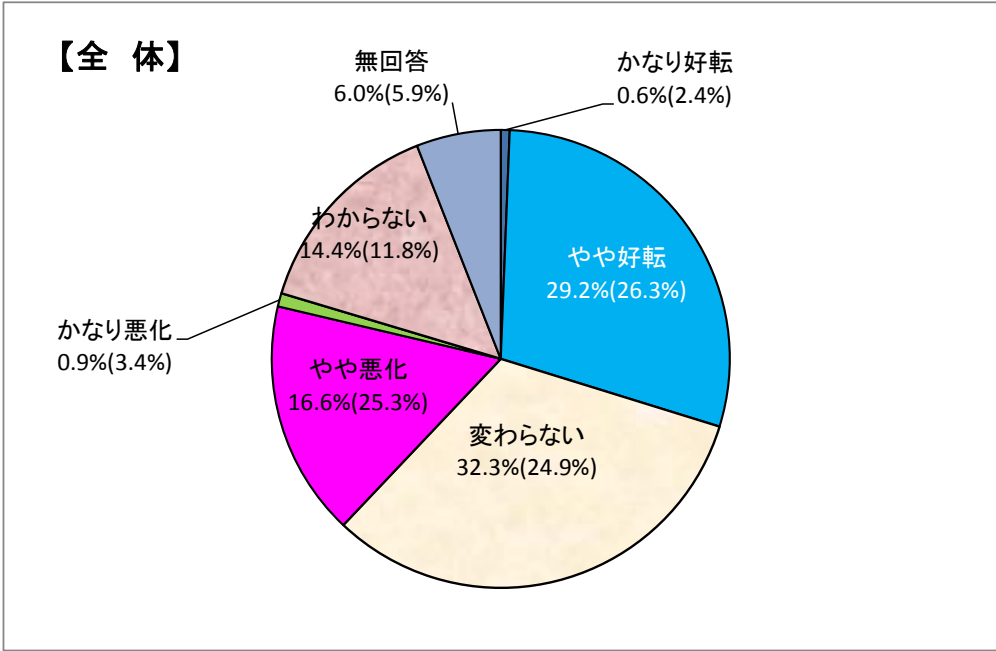


【役員議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップであった。【小規模企業】では、「やや悪化」が対前年比-13.1ポイントと大幅に減少し、「やや悪化」を「やや好転」が上回る結果となった。

2016年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

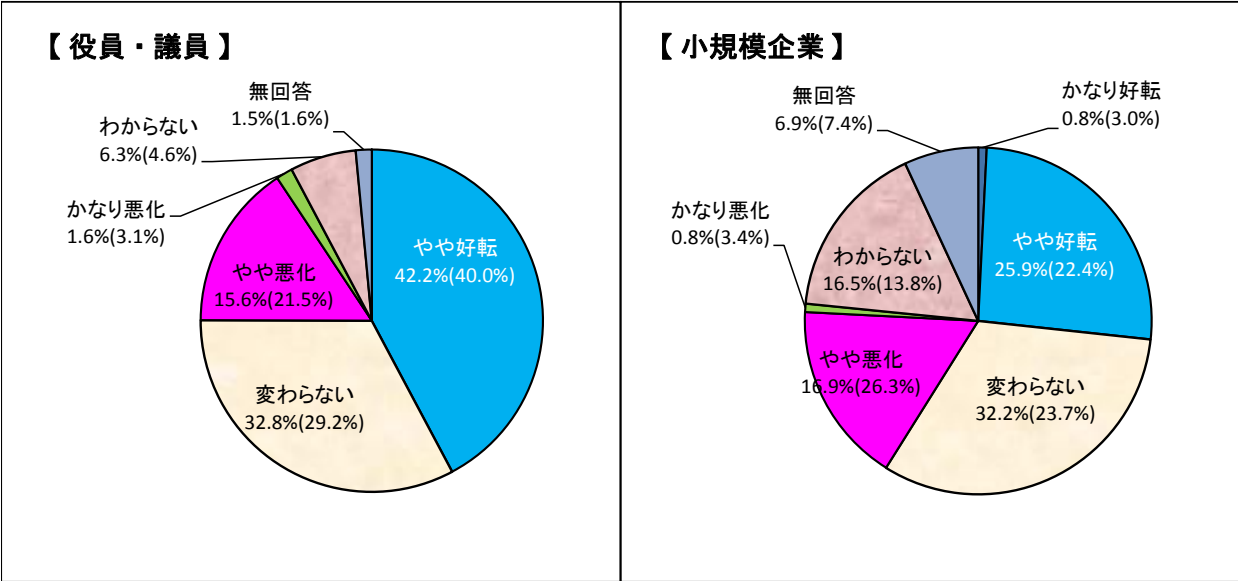
製造業



来年の製造業の動向については、「変わらない」が32.3%でトップ。次いで「やや好転」が29.2%、「やや悪化」が16.6%と続いた。

昨年の予測では、「やや好転」と「やや悪化」が同程度であったが、今回は、「やや好転」が「やや悪化」を12.6ポイント上回る結果となった。「変わらない」も対前年比+7.4ポイント増加していることから、現状維持またはやや好転する見通しとなった。

規模別の動向

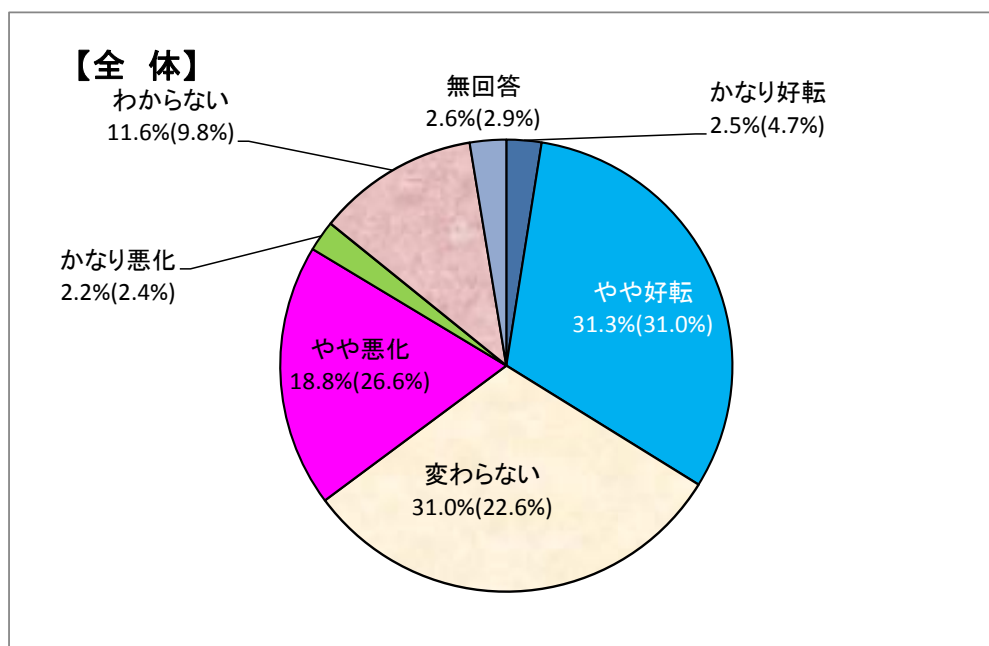


【役員・議員】は「やや好転」が42.2%、【小規模企業】は「変わらない」が32.2%でトップとなった。【役員議員】、【小規模企業】ともに「好転」が増加し、「悪化」は減少している。

2016年 産業別動向

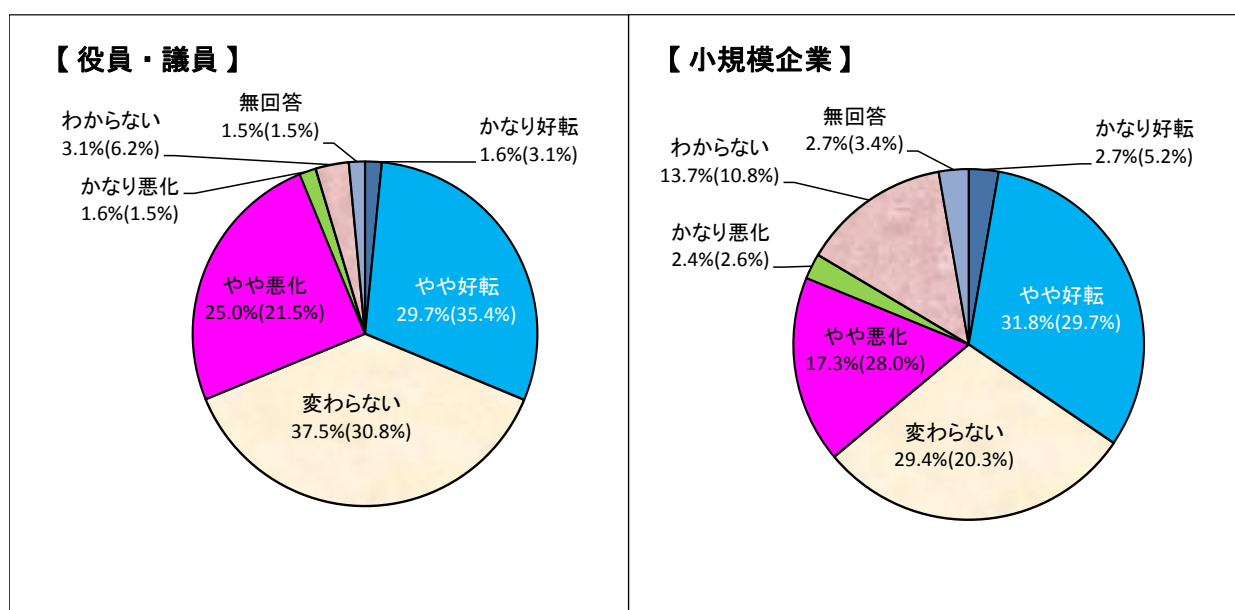
※ グラフの()内は、前年数値

建設業



来年の建設業の動向については、「やや好転」が31.3%でトップ。次いで「変わらない」が31.0%、「やや悪化」が18.8%となった。「好転」の割合は33.8%で、「悪化」の割合の21.0%を大幅に上回る結果となった。建設業は、多業種に比べ好転予測が高い結果となっている。

規模別の動向

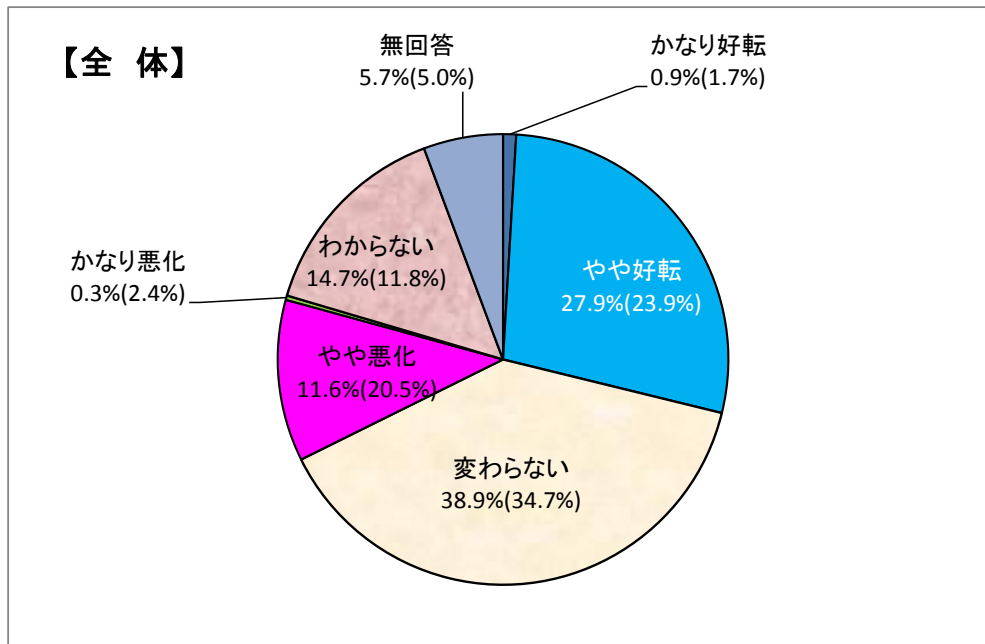


【役員・議員】は「変わらない」が37.5%、【小規模企業】は「やや好転」が31.8%でトップとなった。
【小規模企業】は「悪化」の割合が19.7%で対前年比-10.9ポイント減少している。一方で【役員・議員】は、「悪化」の割合は26.6%で+3.6ポイント増加しており、企業規模により、見通しが分れる結果となった。

2016年 産業別動向

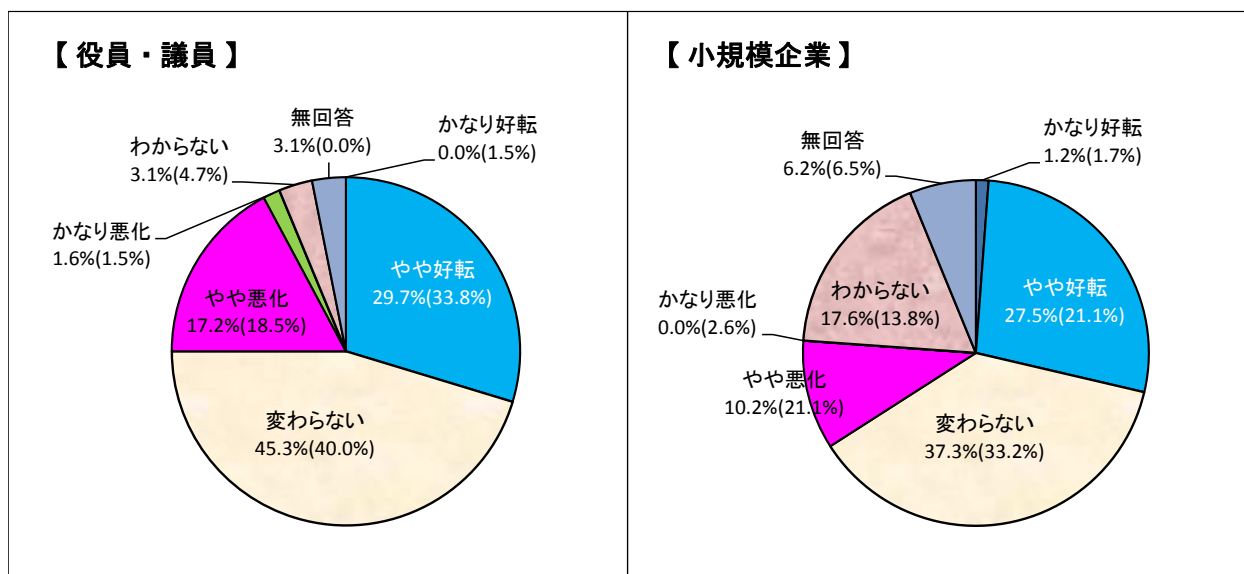
※ グラフの()内は、前年数値

運輸・通信業



来年の運輸・通信業の動向については、「変わらない」が38.9%で前年に引き続きトップとなり、次いで「やや好転」27.9%、「わからない」14.7%となった。「好転」が増加、「悪化」が減少しており、好転傾向を示す結果となった。

規模別の動向

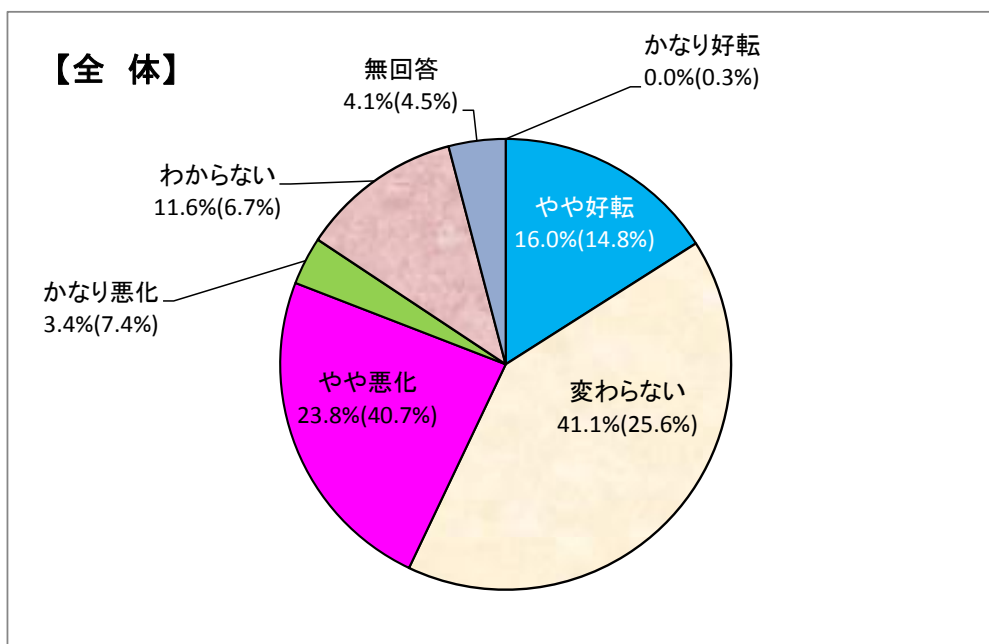


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップ。【役員・議員】は「好転」「悪化」とも減少しているものの、依然として「好転」の割合は「悪化」より高い。【小規模企業】は「好転」の割合が増加し、「悪化」が減少した。

2016年 産業別動向

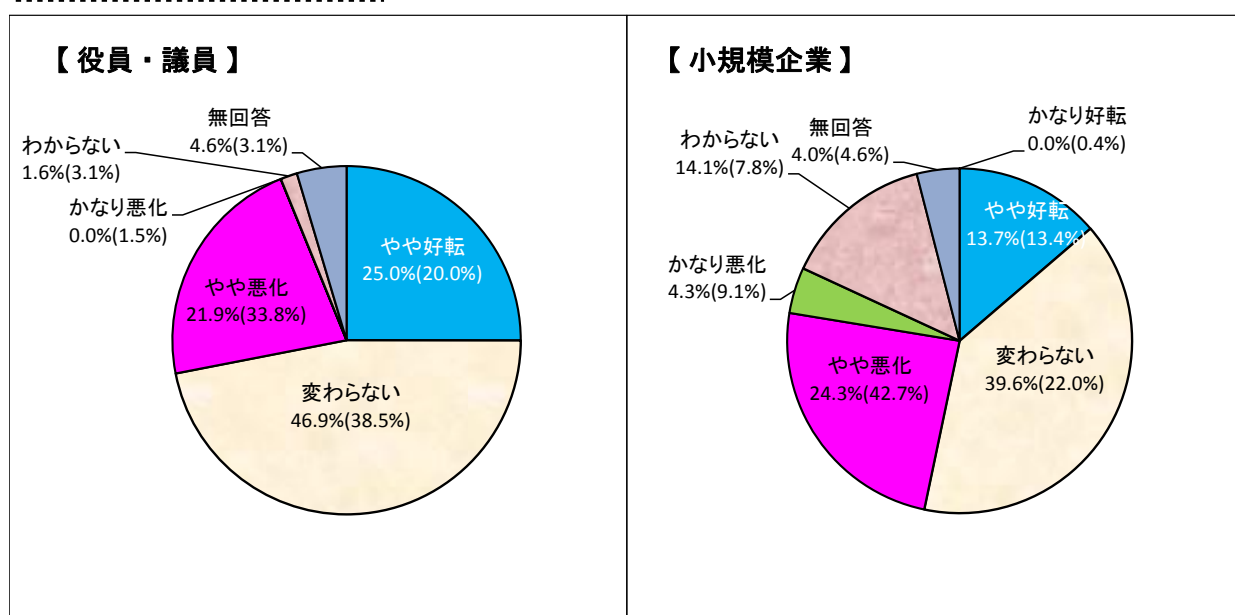
※ グラフの()内は、前年数値

卸売・小売業



来年の卸売・小売業の動向については、「変わらない」が41.1%でトップ。次いで、「やや悪化」が23.8%、「やや好転」が16.0%となった。前年に比べ「変わらない」が増加し、「悪化」と回答する企業は減少しており、明るい兆しが見える結果となった。

規模別の動向

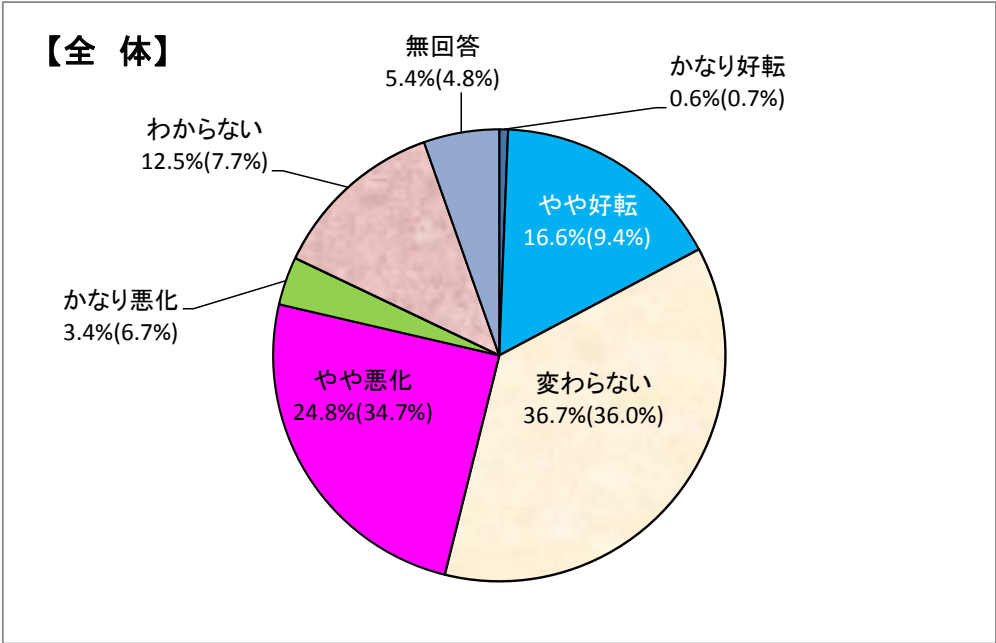


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップ。【役員・議員】は「好転」がわずかながら「悪化」を上回った。【小規模企業】は「悪化」が対前年比-23.2ポイントと大幅に減少したものの、依然として悪化の割合が高い。

2016年 産業別動向

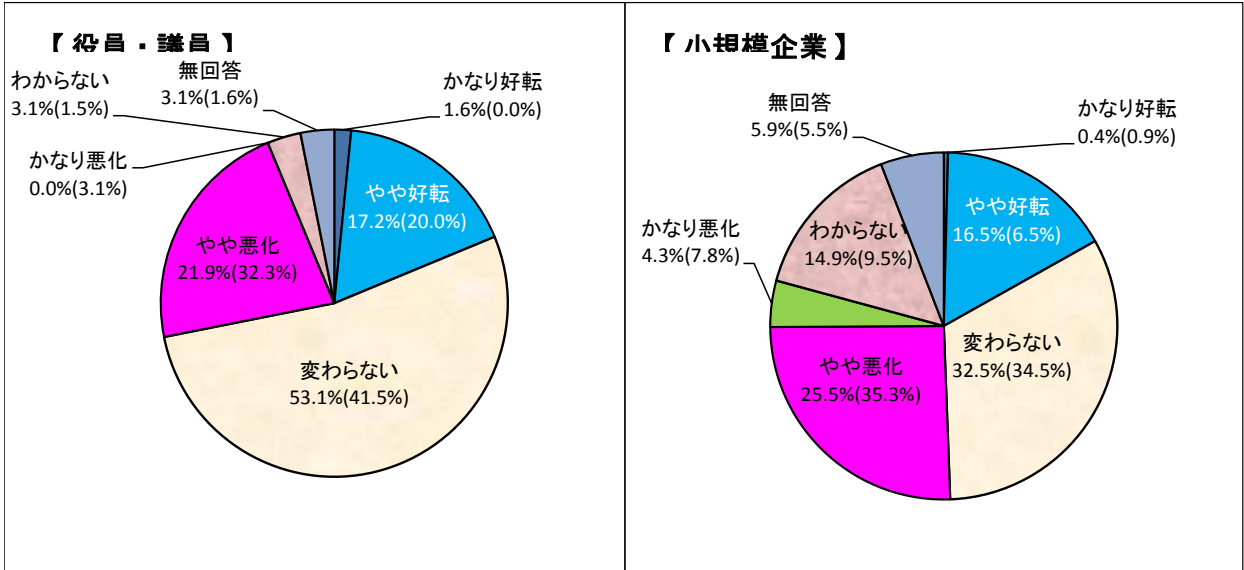
※ グラフの()内は、前年数値

飲食業



来年の飲食業の動向については、「変わらない」が36.7%で前年に引き続きトップ。次いで、「やや悪化」が24.8%、「やや好転」16.6%となった。前年に比べ、「悪化」と回答する企業が減少し、「好転」「変わらない」と回答する企業が増加したが、全業種の中では飲食業が「悪化」と回答する企業が最も多かった。

規模別の動向

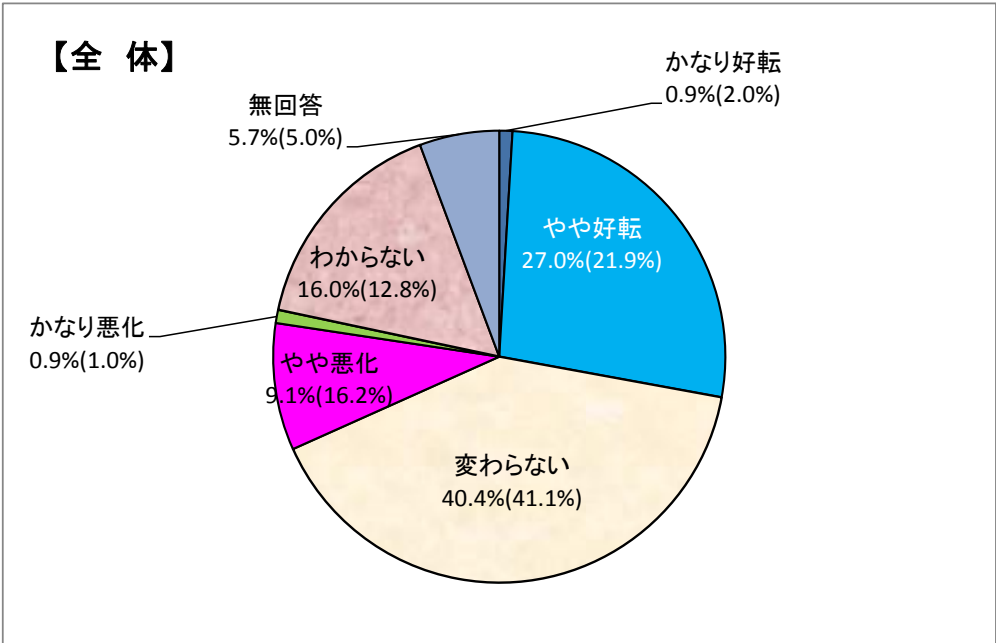


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップで、それぞれ53.1%、32.5%となった。「悪化」は、【役員・議員】で21.9%で対前期比-10.4ポイント、【小規模企業】は29.8%で対前期比-13.3ポイント減少している。

2016年 産業別動向

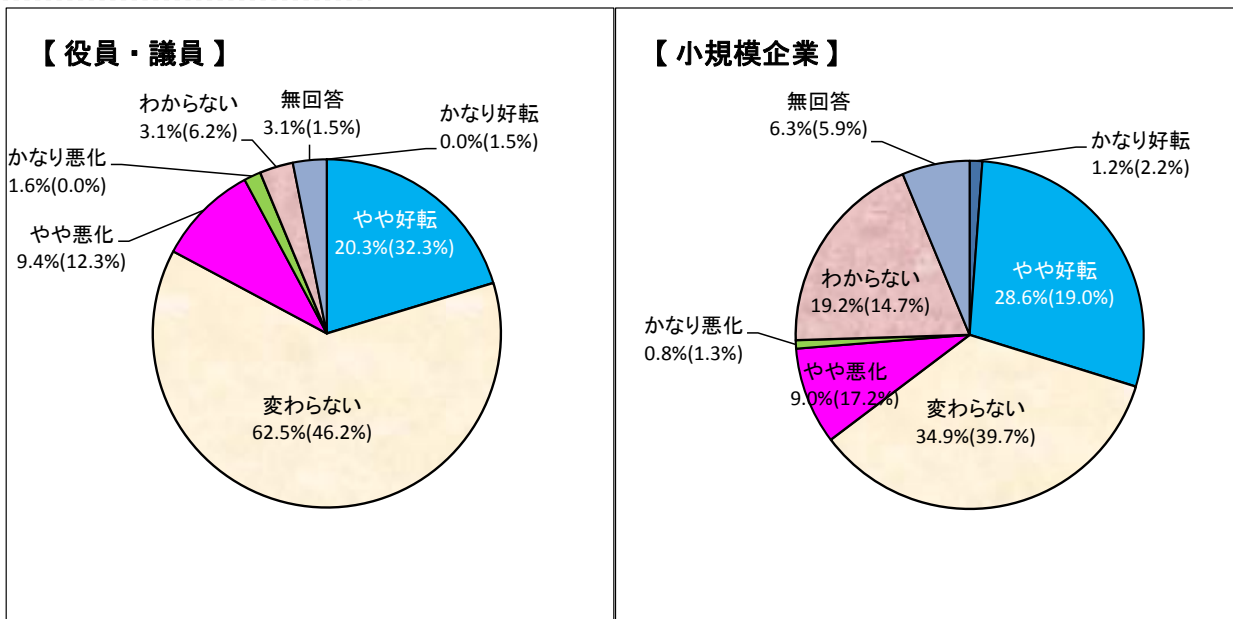
※ グラフの()内は、前年数値

金融・保険業



来年の金融・保険業の動向については、「変わらない」が40.4%で前年に引き続きトップ。次いで、「やや好転」27.0%、「わからない」16.0%となった。前年に比べ、「悪化」の割合は減少し、「好転」が増加している。

規模別の動向

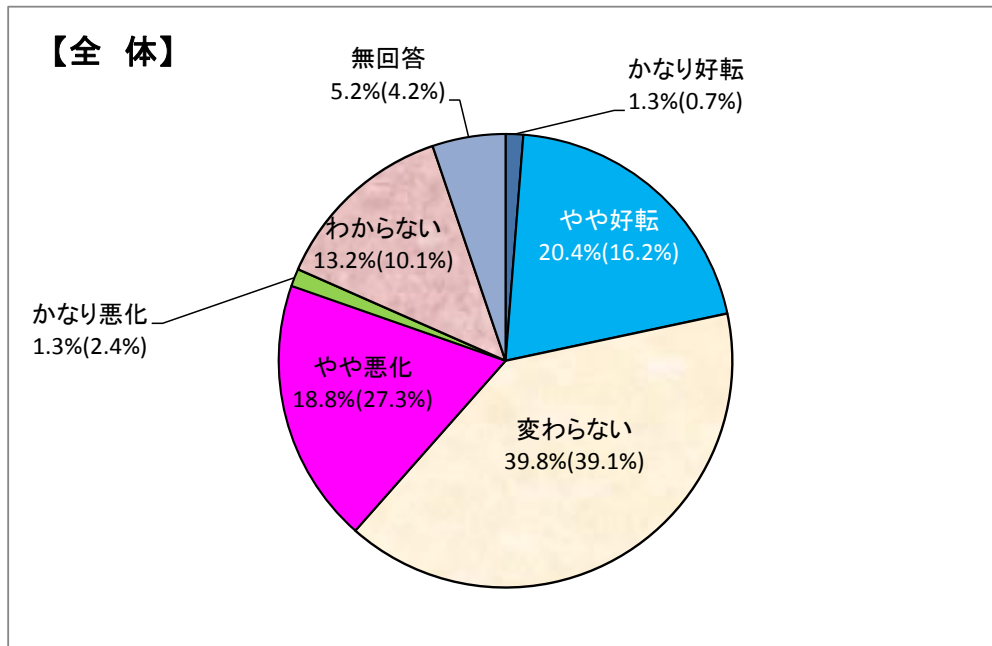


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップで、それぞれ62.5%、34.9%。【役員・議員】は、「やや好転」が12.0ポイント減少し、「変わらない」が16.3ポイント増加。一方、【小規模企業】では、「やや好転」が9.6ポイント増加し、「変わらない」が4.8ポイントの減少となった。

2016年 産業別動向

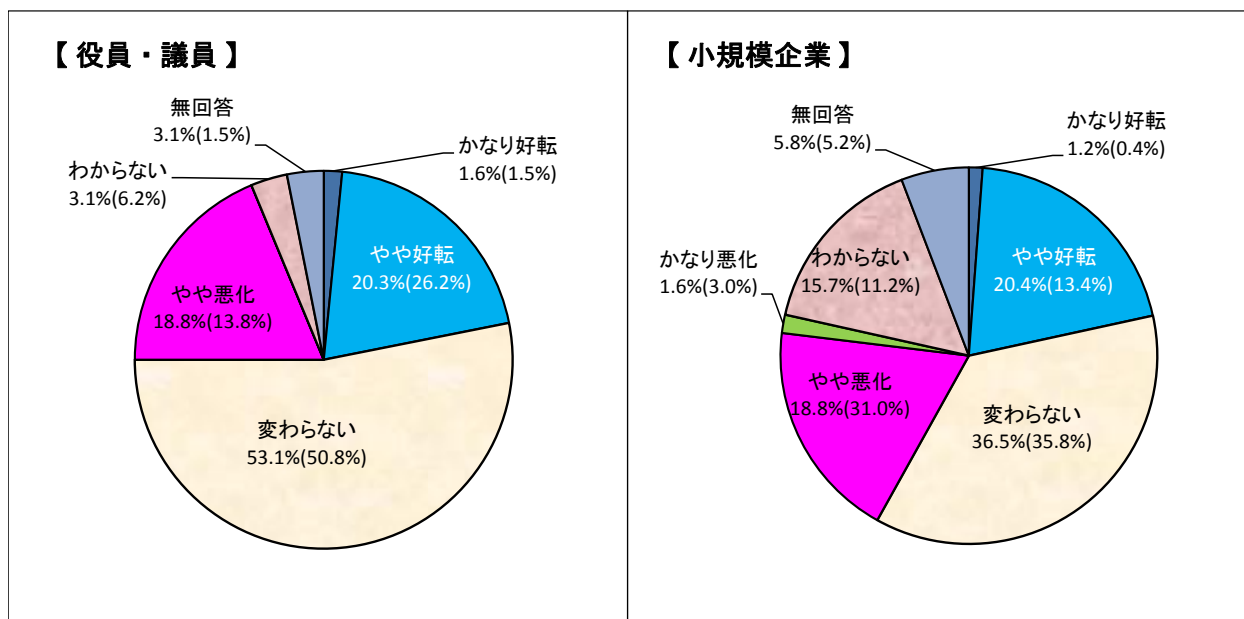
※ グラフの()内は、前年数値

サービス業



来年のサービス業の動向については、「変わらない」が39.8%で前年に引き続きトップとなった。次いで、「やや好転」が20.4%、「やや悪化」が18.8%と続いた。前年は、「悪化」の方が「好転」の割合より高かったが、今回は僅差ではあるが、「好転」が「悪化」の割合を上回った。

規模別の動向

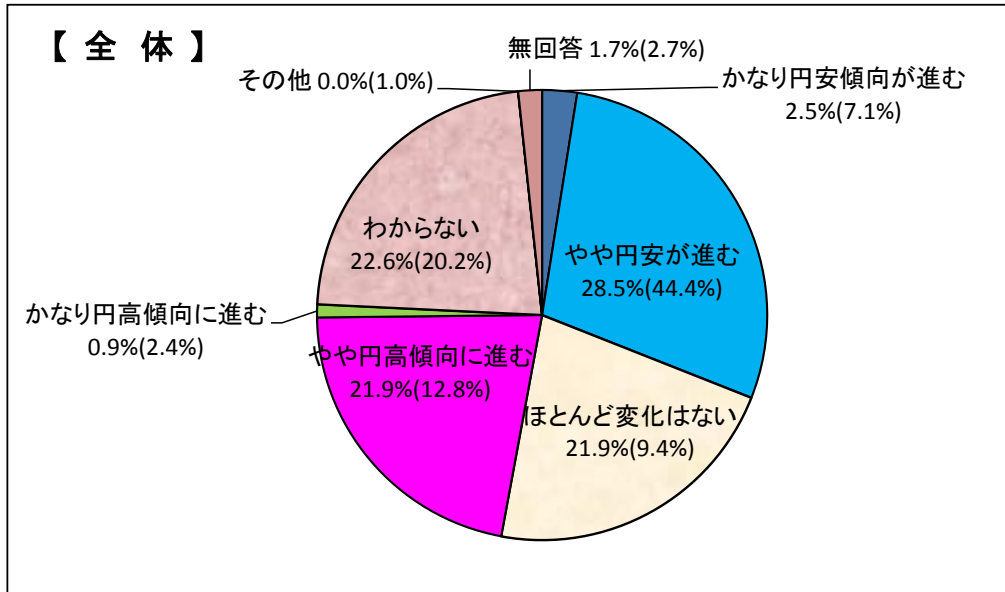


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップで、それぞれ53.1%、36.5%となった。また、「好転」と「悪化」の割合も、【役員・議員】、【小規模企業】ともに同程度となった。

円市場予測

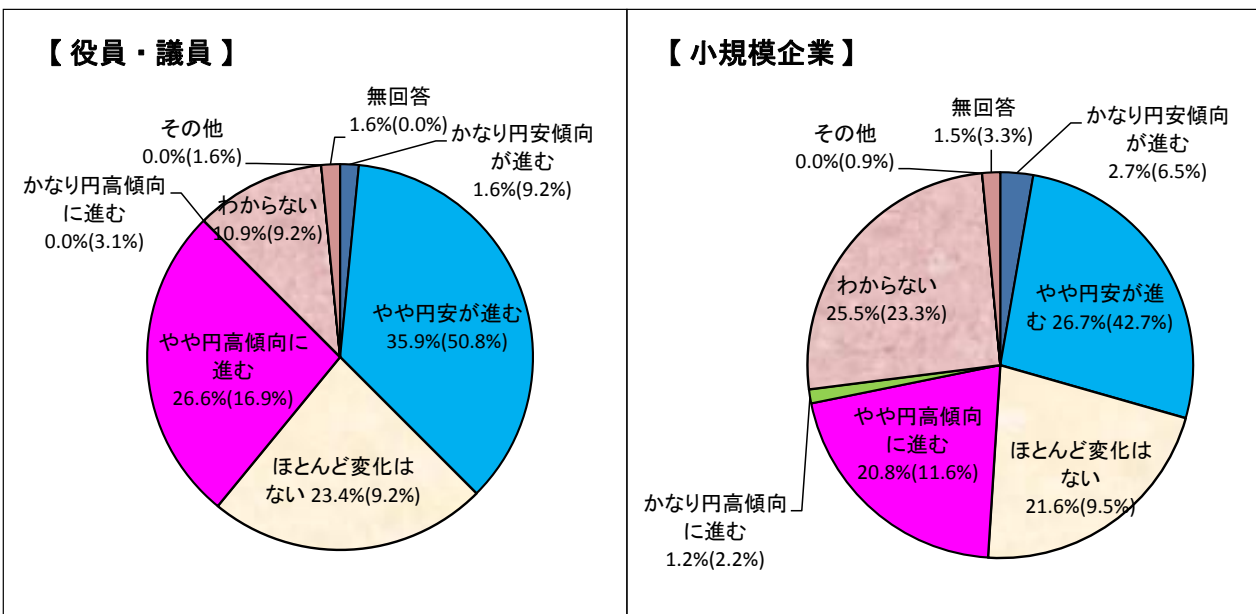
※ グラフの()内は、前年数値

「やや円安」が 28.5%、「ほとんど変化はない」と「やや円高」が 21.9% (3割が「円安」と予測)



円市場の推移予測は、「やや円安」が 28.5%、「ほとんど変化はない」は21.9%、「やや円高」が21.9%。前年は、「円安」が51.5%と半数以上が円安傾向が進むと予測していたが、今年は「円安」が31.0%、「円高」が22.8%、「ほとんど変化はない」が21.9%と分かれる結果となった。

規模別の円市場予測

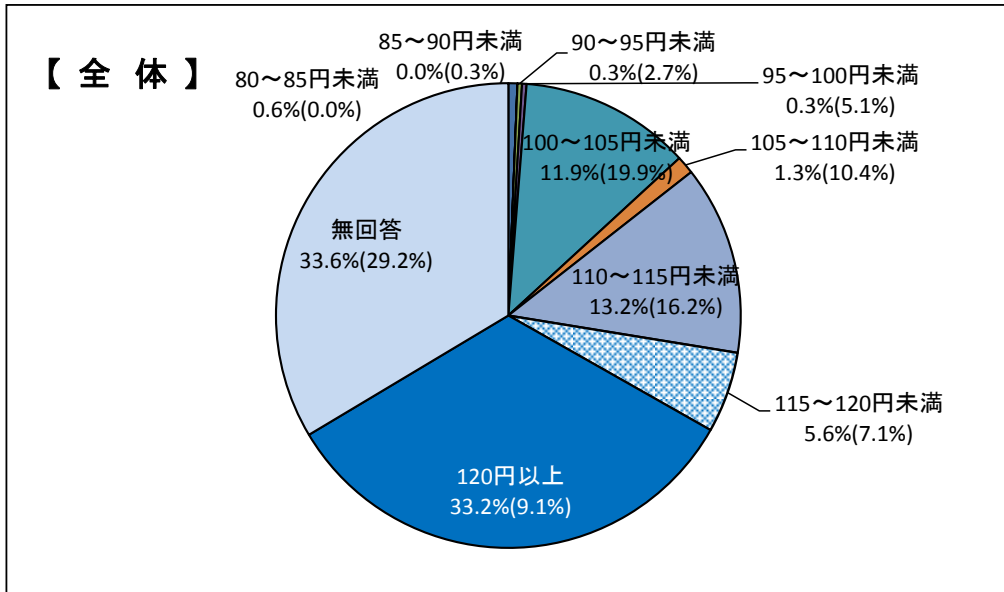


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや円安」がそれぞれ 35.9%、26.7%でトップ。前年と比較すると、【役員・議員】が14.9ポイント、【小規模企業】が16.0ポイントの減少となった。

望ましい為替水準

※ グラフの()内は、前年数値

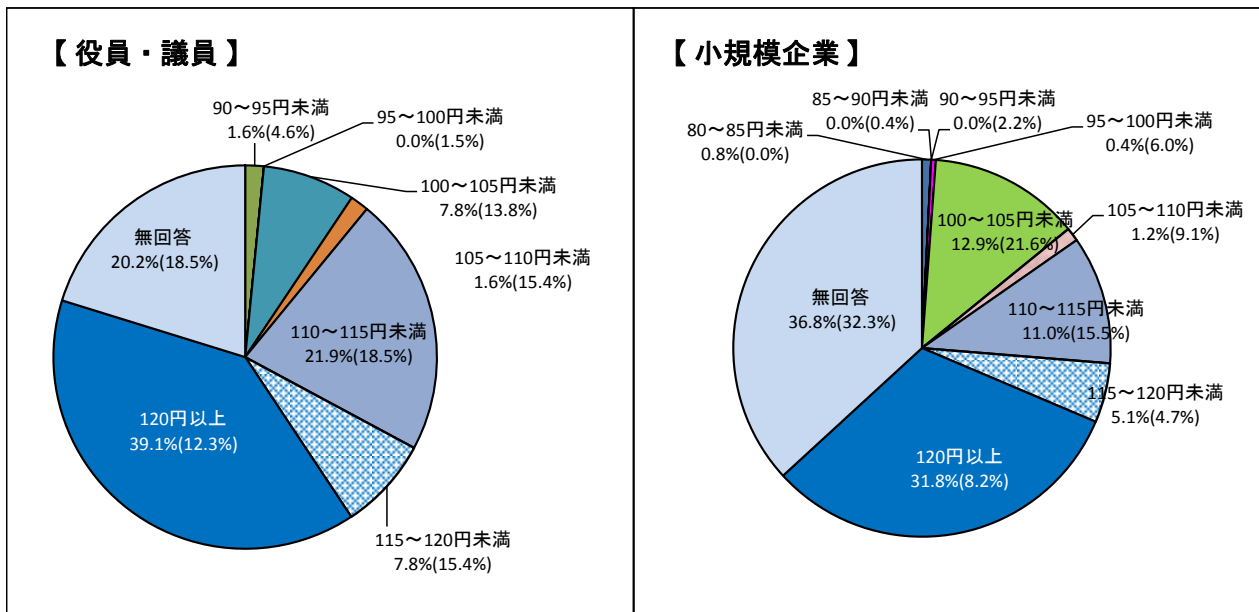
「120円以上」が33.2%でトップ、次いで「110～115円未満」が13.2%



調査票記載の参考為替 東京外国為替 円(ドル=円)(11月6日)
 [始値] 121.74 [高値] 123.26 [安値] 121.60 [終値] 123.13

企業にとっての望ましい為替水準は、「120円以上」が33.2%でトップ、次いで「110～115円未満」が13.2%となった。昨年と比較し「120円以上」の割合が大幅に増加している。

規模別の望ましい為替水準

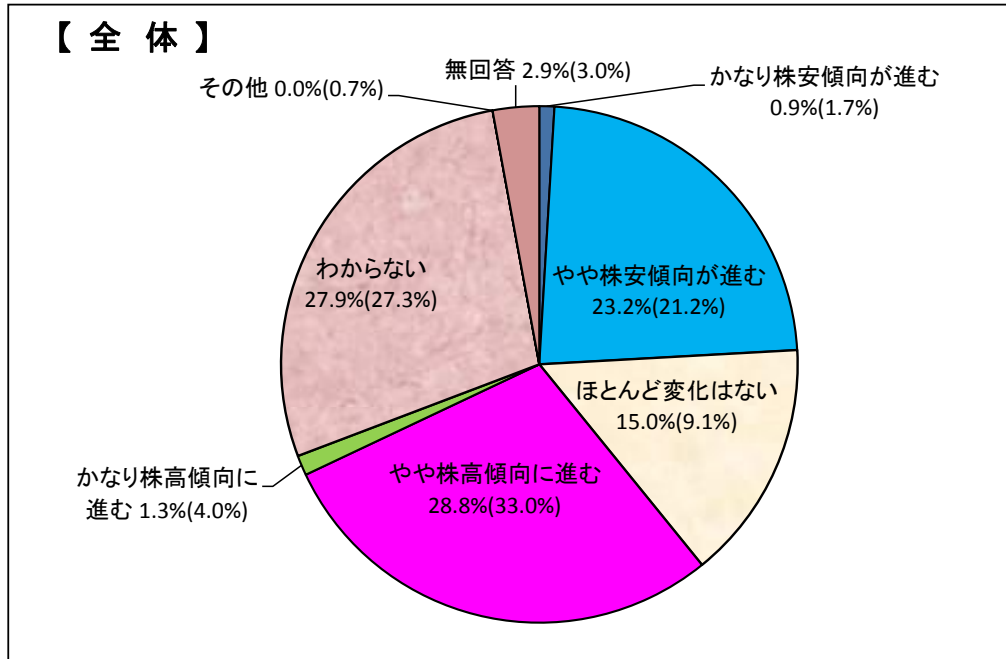


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「120円以上」がトップ。【役員・議員】では約4割、【小規模企業】では約3割の企業が「120円以上」と回答した。

株式市場予測

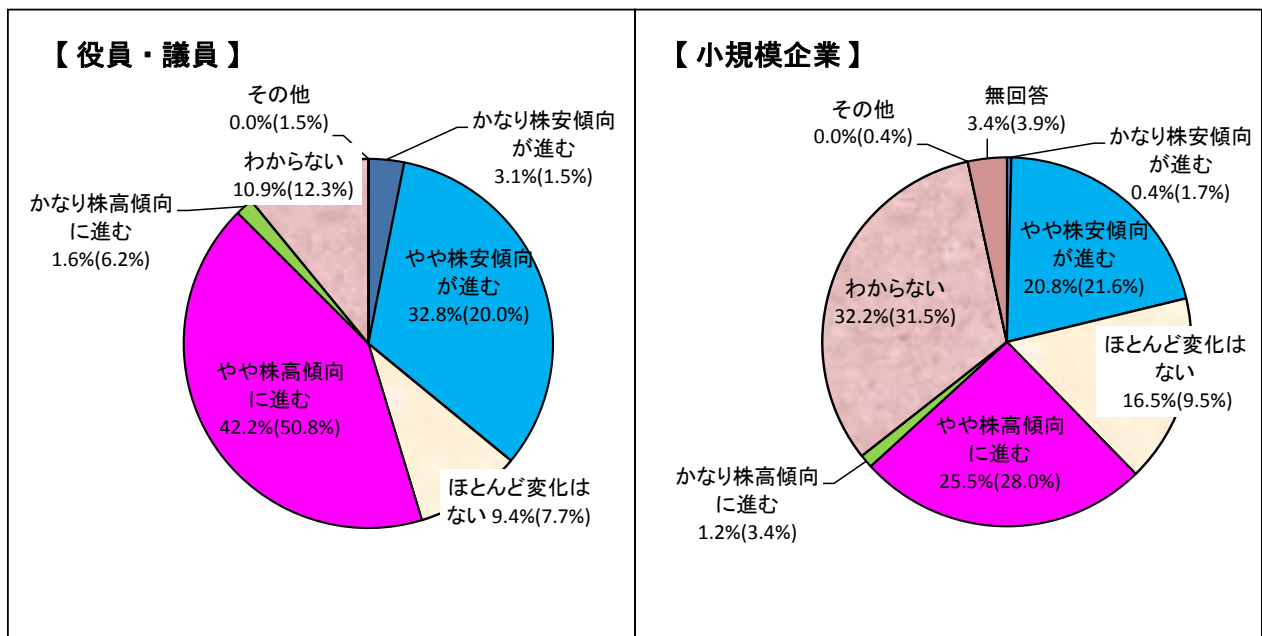
※ グラフの()内は、前年数値

「やや株高傾向」28.8%、「やや株安傾向」23.2%



株式市場の予測は、「やや株高」が28.8%でトップ。次いで「やや株安」23.2%。前年同様に株安傾向と株高傾向の二つに予測が分れる結果となった。

規模別の株式市場予測

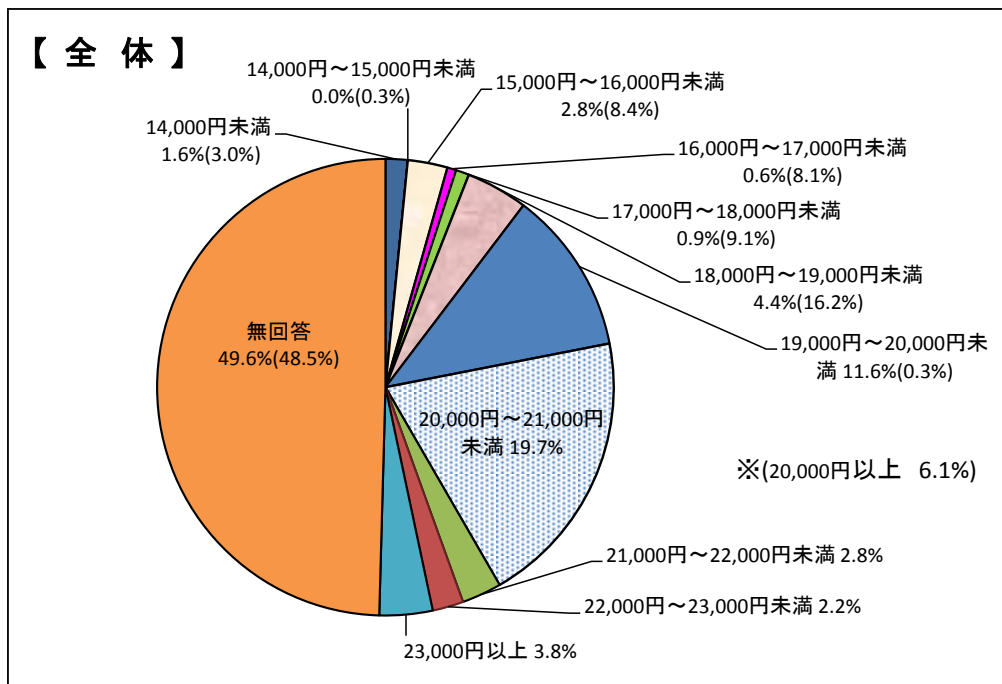


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや株高傾向」がトップで、それぞれ42.2%、25.5%。しかし、【役員・議員】では「やや株安傾向」の割合が+12.8ポイントと大幅に増加した。

望ましい株価水準

※ グラフの()内は、前年数値

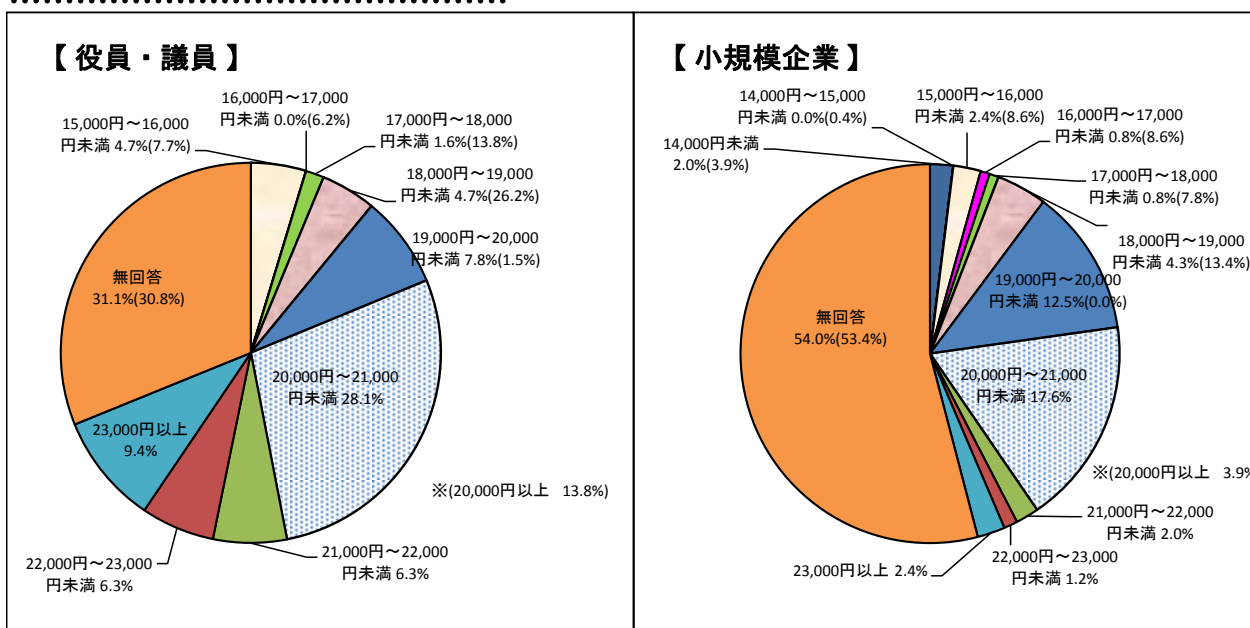
「20,000円～21,000円未満」が19.7%でトップ



調査票記載の参考株価 国内株式 日経平均(円) (11月6日)
 [始値] 19,194.34 [高値] 19,294.15 [安値] 19,164.86 [終値] 19,265.60

望ましい株価水準は、「20,000円～21,000円未満」が19.7%でトップ。次いで、「19,000円～20,000円未満」が11.6%。前年と比較し20,000円以上が22.4ポイント増加している。

規模別の望ましい株価水準

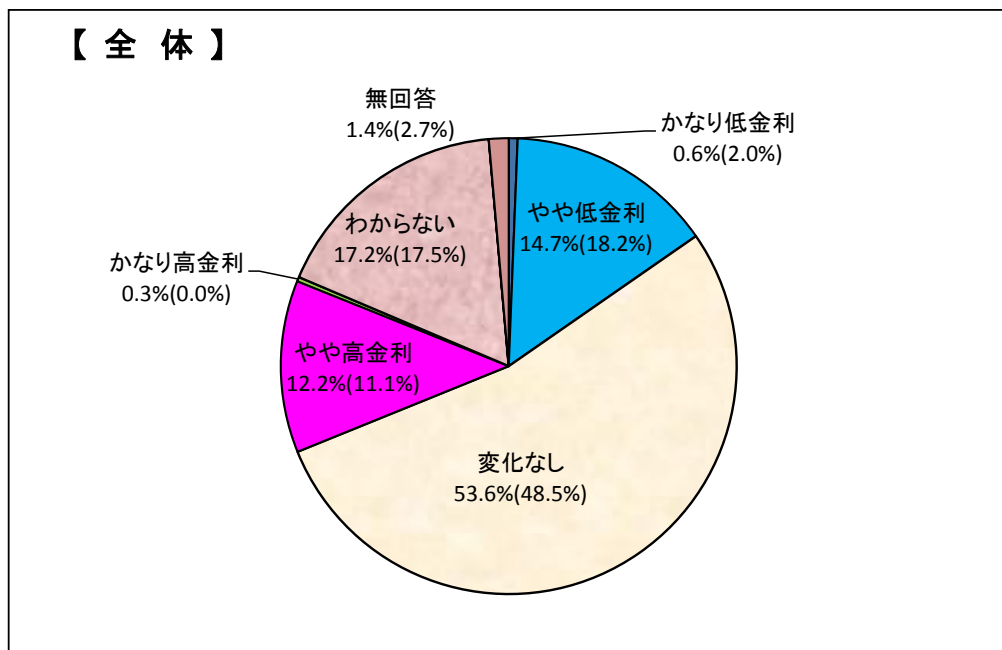


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「20,000円～21,000円未満」がトップ。20,000円以上では、【役員・議員】が50.1%、【小規模企業】は23.2%であった。

金利予測

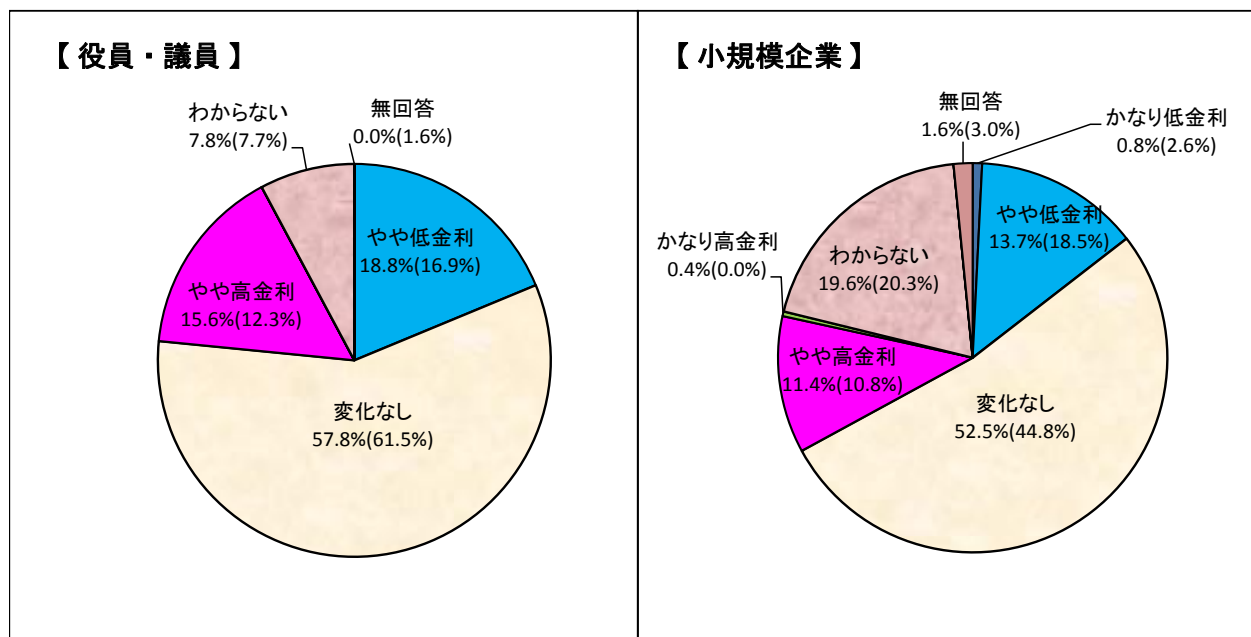
※ グラフの()内は、前年数値

「変化なし」が53.6%でトップ、次いで「やや低金利」で14.7%



金利の推移予測では、「変化なし」が53.6%でトップ、次いで「やや低金利」が14.7%、「やや高金利」が12.2%と前年同様の順位となった。

規模別の金利予測

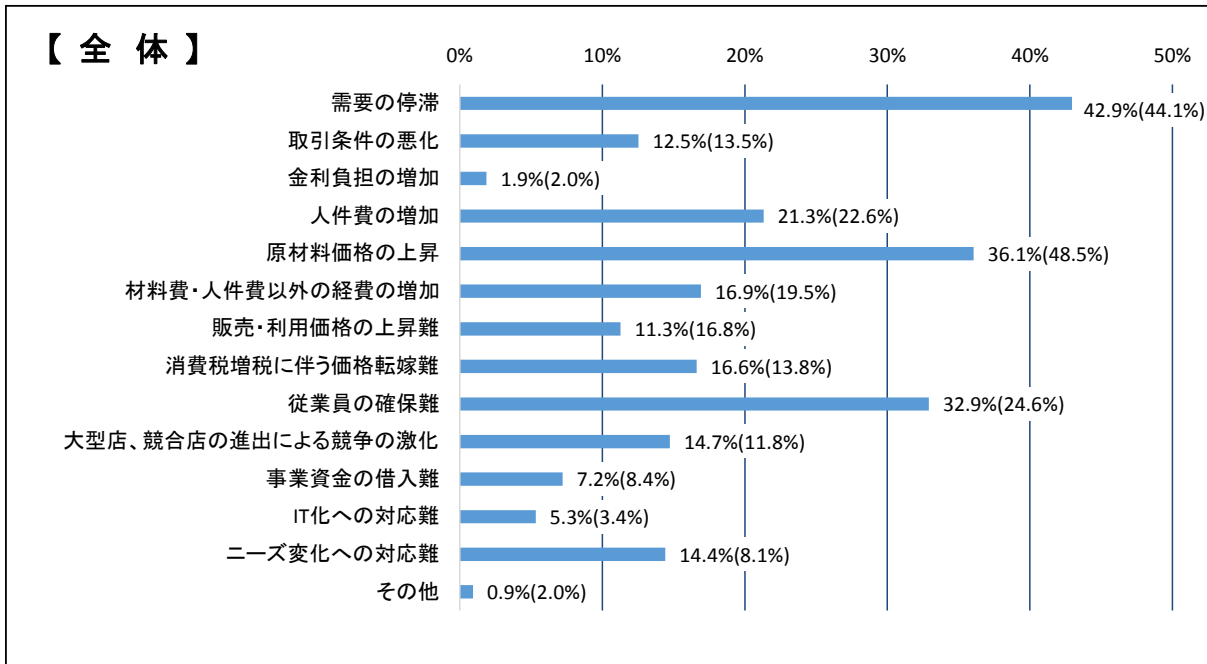


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変化なし」がトップで、それぞれ57.8%、52.5%。次いで「やや低金利」、「やや高金利」と続き、企業規模に関係なく同じ順位であった。

経営上の問題点

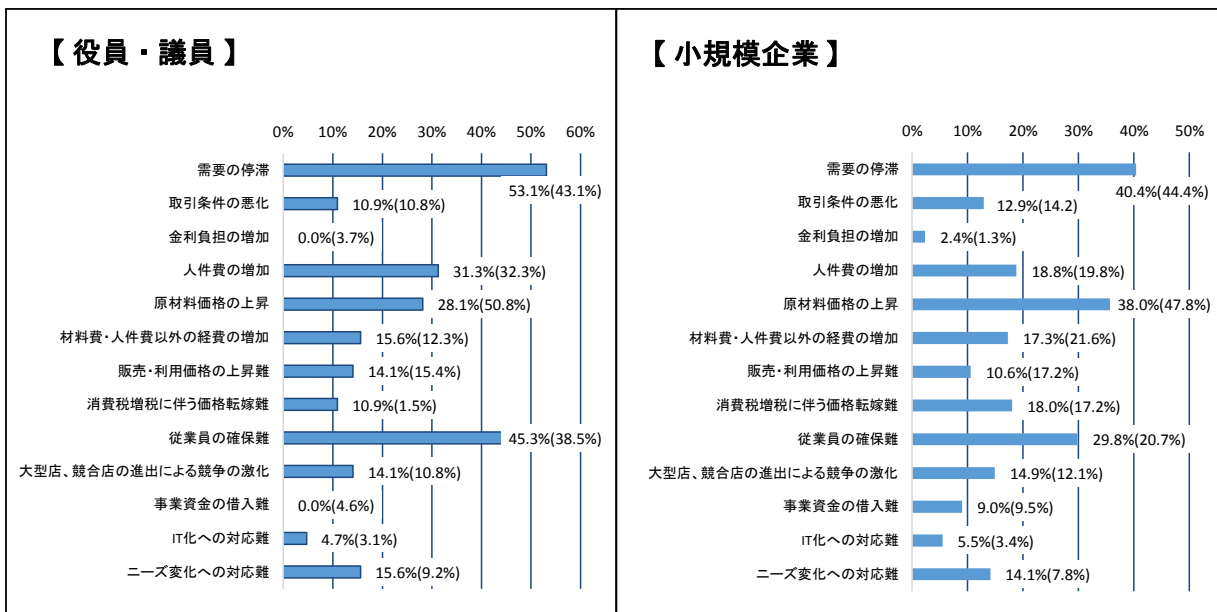
(複数回答) ※ グラフの()内は、前年数値

トップは「需要の停滞」、次いで「原材料価格の上昇」。「従業員の確保難」が大幅に増加



経営上の問題点として最も多かったのは、「需要の停滞」で42.9%。次いで「原材料価格の上昇」で36.1%で、前回の1位と2位が入れ替わる結果となった。また、3位の「従業員の確保難」は対前年比+8.3ポイントと大幅に増加した。

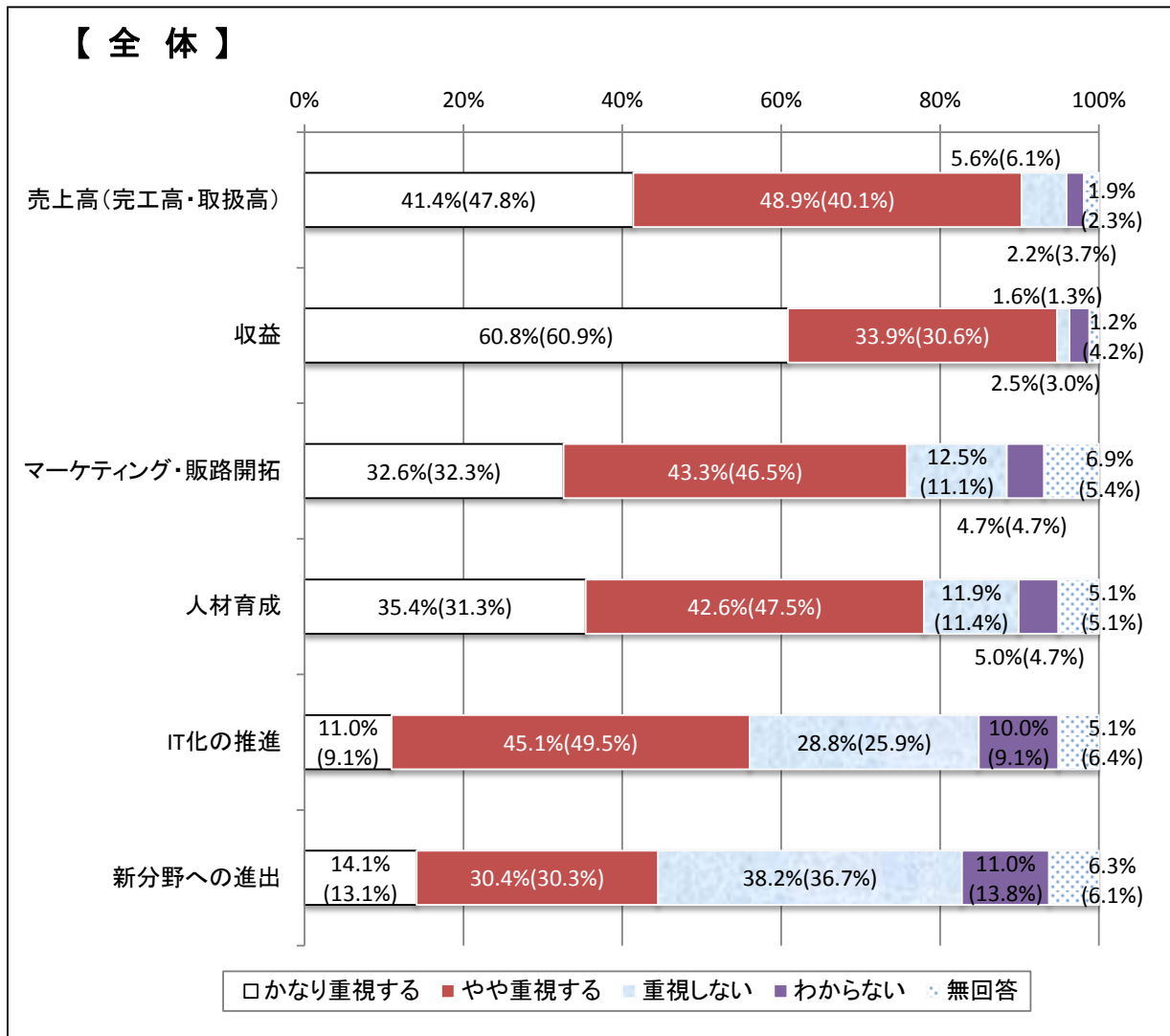
規模別の経営上の問題点



【役員・議員】、【小規模企業】ともに「需要の停滞」がトップで、それぞれ53.1%、40.4%となった。【役員・議員】と【小規模企業】ともに「従業員の確保難」が増加している。特に、【役員・議員】では45.3%と高い割合を占めている。

経営上の重視点

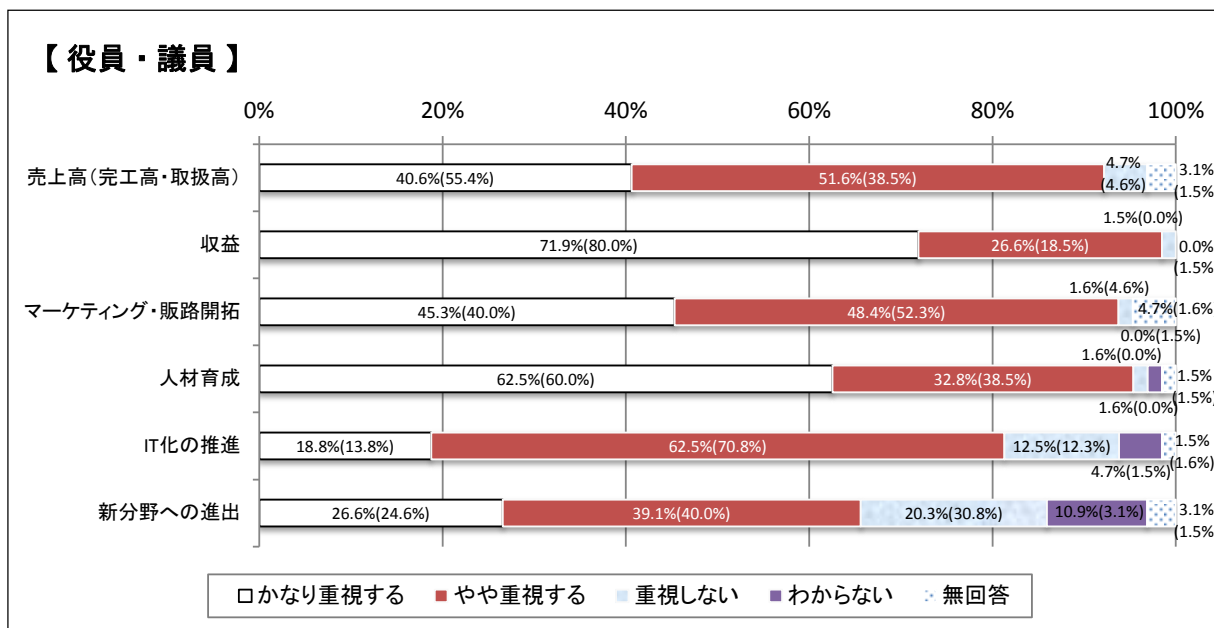
※ グラフの()内は、前年数値



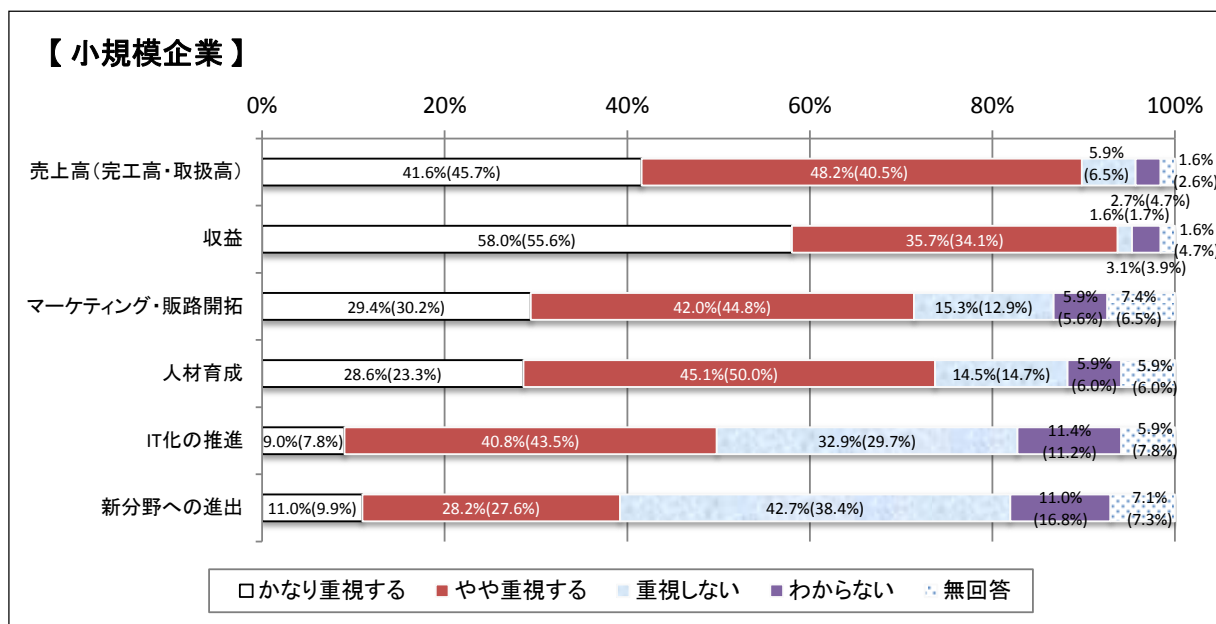
「(かなり・やや)重視」する割合が高いのは、「収益」で94.7%、次いで「売上高」で90.3%、「人材育成」78.0%、「マーケティング・販路開拓」75.9%であった。

規模別の経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値



「(かなり・やや)重視」する割合が高いのは、「収益」で98.5%、次いで「人材育成」95.3%、「マーケティング・販路開拓」93.7%、「売上高」92.2%と4項目で9割を超えた。

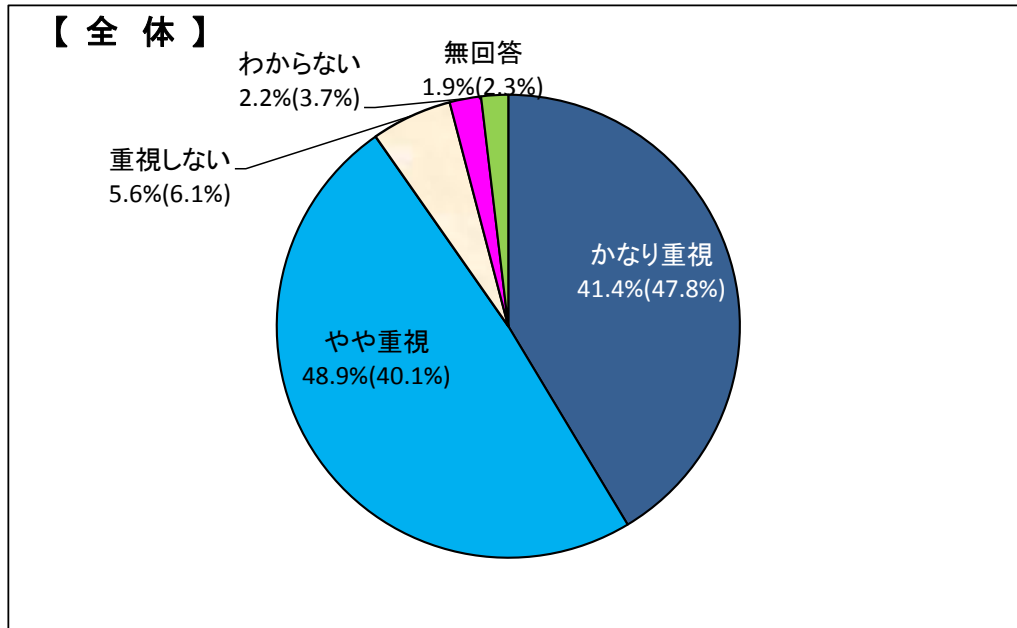


「(かなり・やや)重視」する割合が最も高いのは、【役員・議員】と同様に「収益」で93.7%、次いで「売上高」89.8%。【役員・議員】で9割以上「重視する」と回答した「人材育成」と「マーケティング・販路開拓」は、それぞれ73.7%、71.4%に留まった。

経営上の重視点

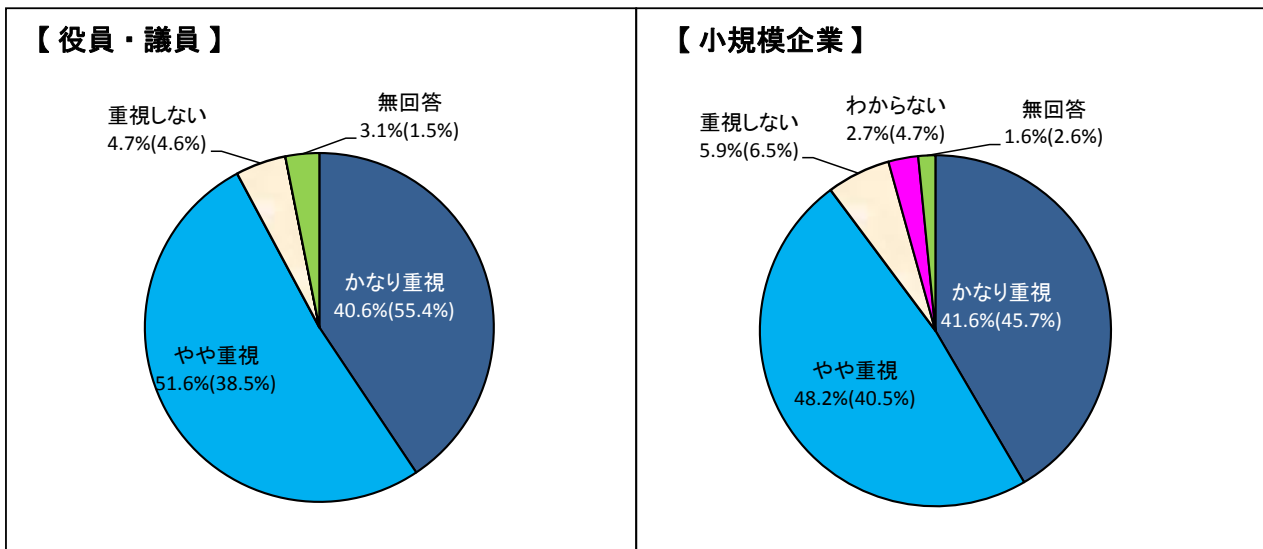
※ グラフの()内は、前年数値

<売上高> トップは「やや重視」 48.9%



売上高については「やや重視する」が48.9%でトップ。次いで「かなり重視する」が41.4%。前年は「かなり重視する」の方が「やや重視する」より7.7ポイント多かったが、今回は「やや重視する」の方が7.5ポイント多かった。

規模別の経営上の重視点

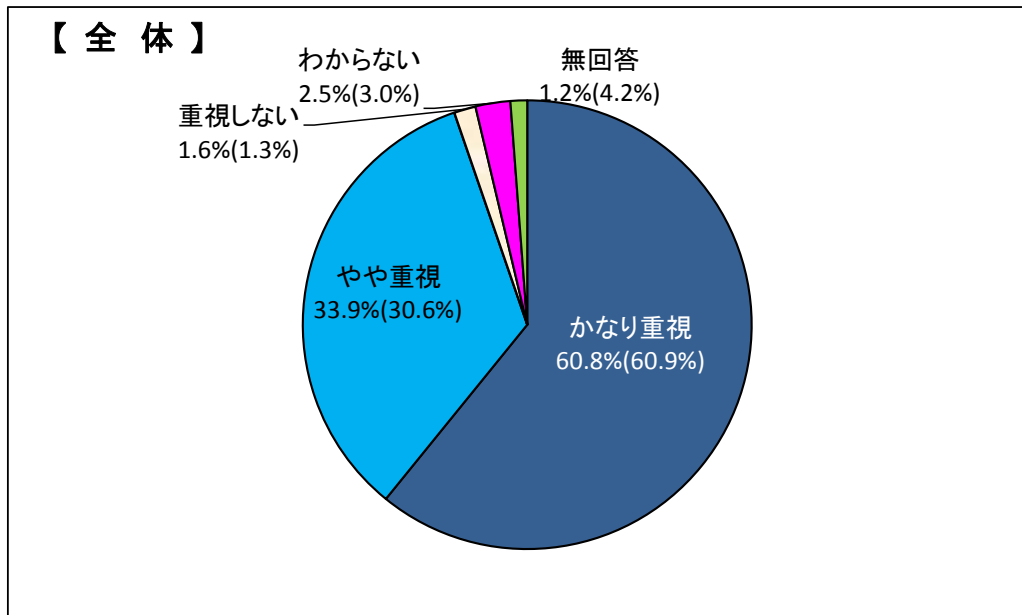


【役員・議員】、【小規模企業】ともに、「やや重視する」がトップで、それぞれ51.6%、48.2%となった。

経営上の重視点

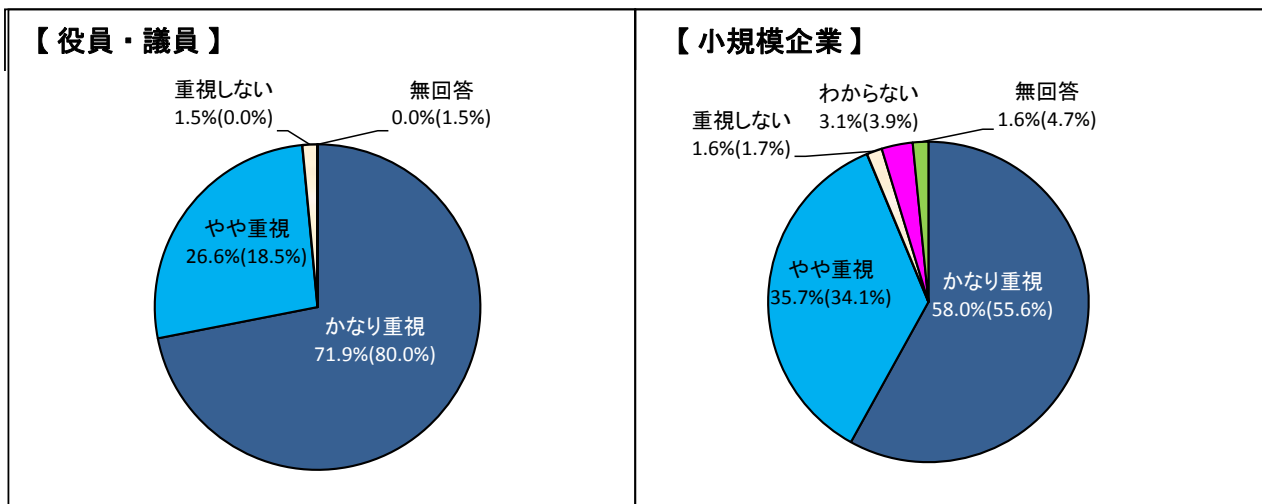
※ グラフの()内は、前年数値

<収益> トップは「かなり重視」 60.8%



「かなり重視する」が60.8%、「やや重視する」が33.9%で、昨年同様の結果となった。

規模別の経営上の重視点

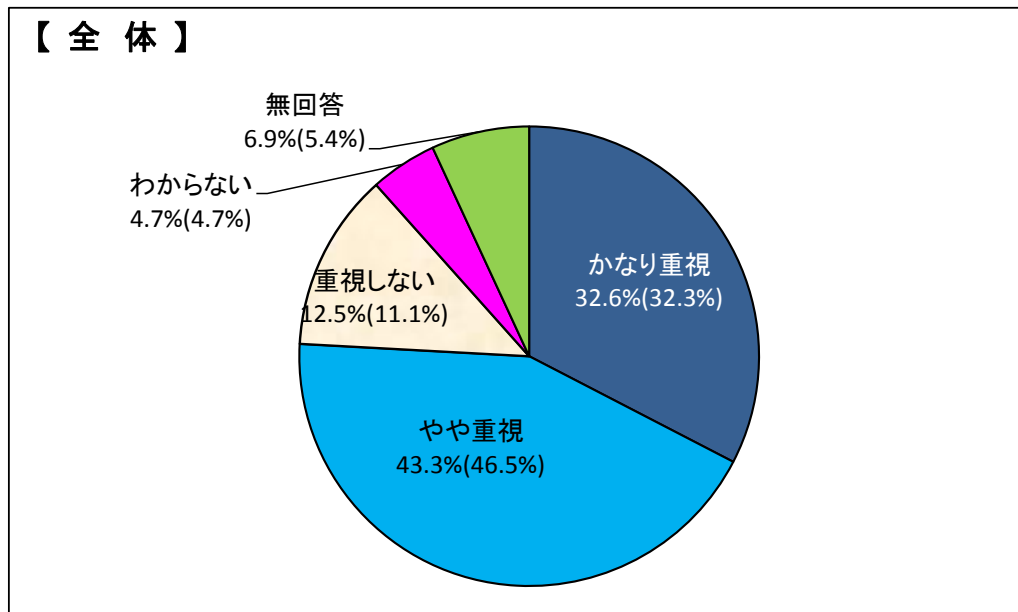


【役員・議員】、【小規模企業】ともに、「(かなり・やや)重視する」がそれぞれ98.5%、93.7%と90%以上の企業が重視する傾向にある。特に【役員・議員】では「かなり重視する」が71.9%と、【小規模企業】に比べ13.9ポイント高くなっている。

経営上の重視点

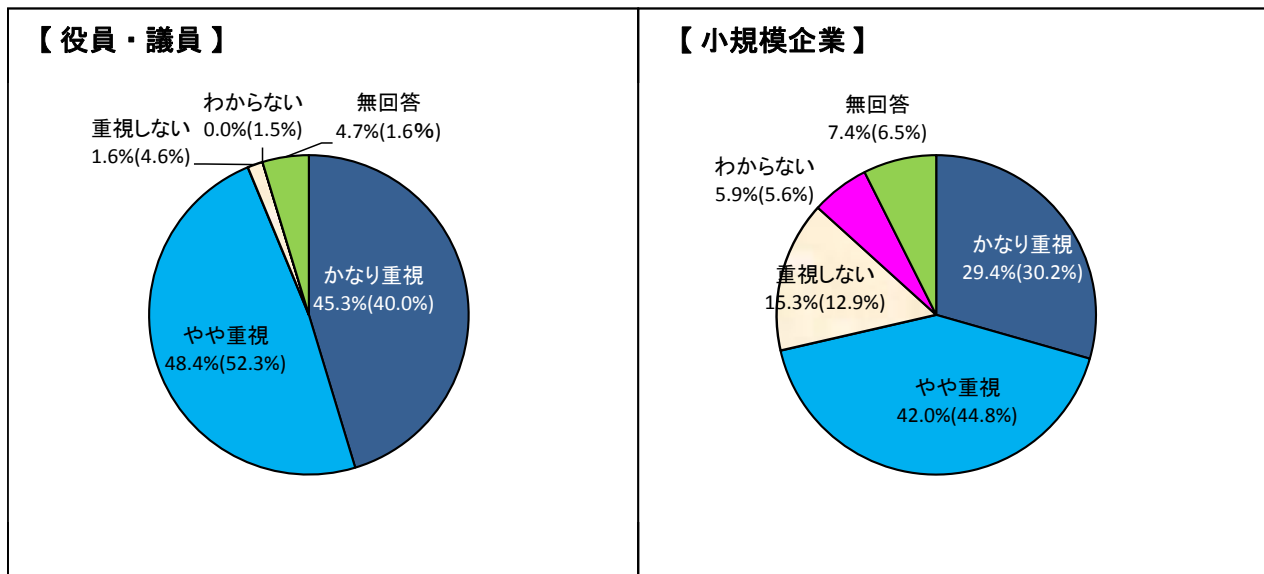
※ グラフの()内は、前年数値

＜マーケティング・販路開拓＞ トップは「やや重視」 43.3%



「やや重視する」が43.3%でトップ、次いで「かなり重視する」が32.6%、「重視しない」が12.5%と、昨年とほぼ同様の結果となった。

規模別の経営上の重視点

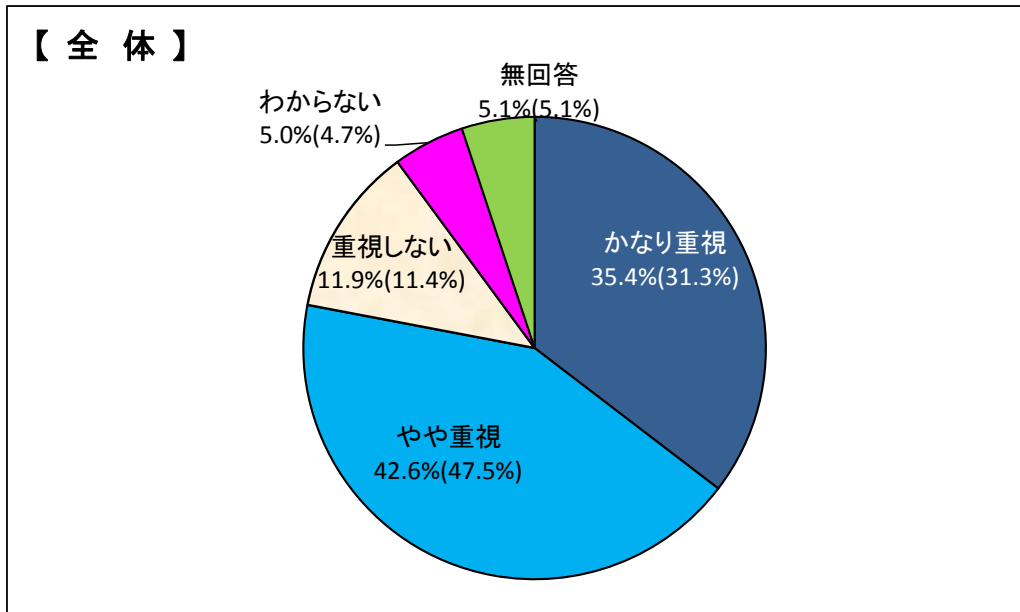


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや重視する」がトップで、それぞれ48.4%、42.0%。「(かなり・やや)重視する」の割合が【役員・議員】は93.7%とほぼすべての企業が重視しているのに対し、【小規模企業】は71.4%と22.3ポイントの差があった。

経営上の重視点

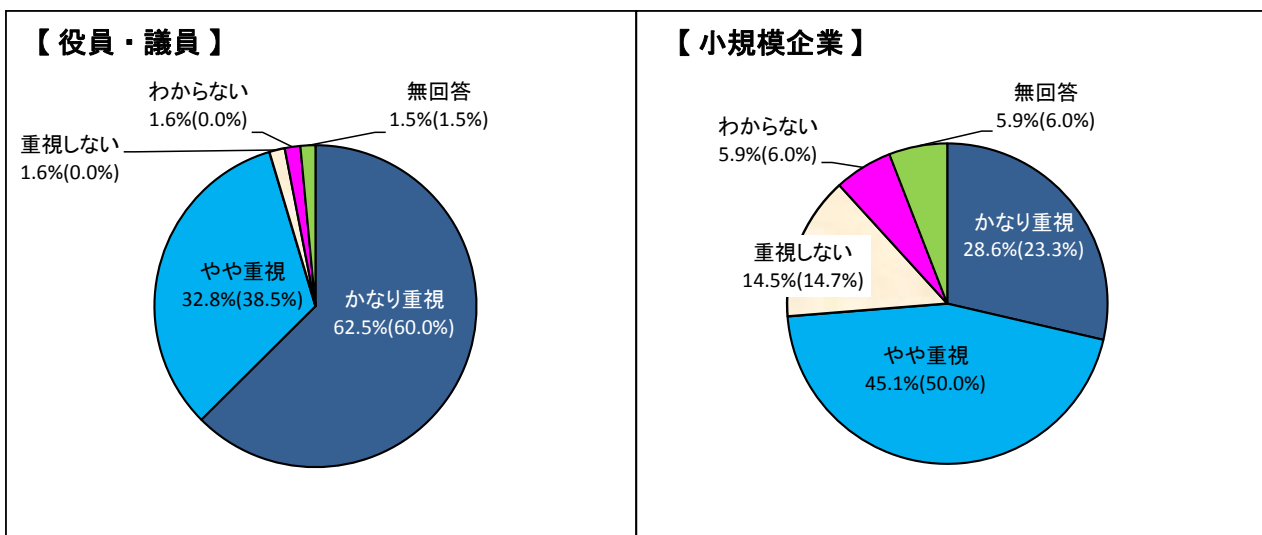
※ グラフの()内は、前年数値

<人材育成> トップは「やや重視」 42.6%



「やや重視する」が42.6%でトップ。次いで、「かなり重視する」が35.4%、「重視しない」が11.9%。

規模別の経営上の重視点



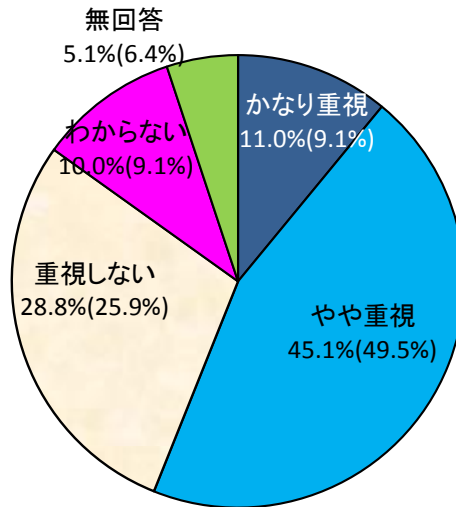
「(かなり・やや)重視する」の割合が、【役員・議員】で95.3%とほぼすべての企業が重視しているのに対し、【小規模企業】は73.7%と、【役員・議員】と【小規模企業】では21.6ポイントの差があった。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

<IT化の推進> トップは「やや重視」 45.1%

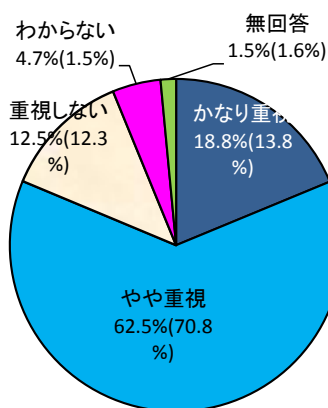
【全体】



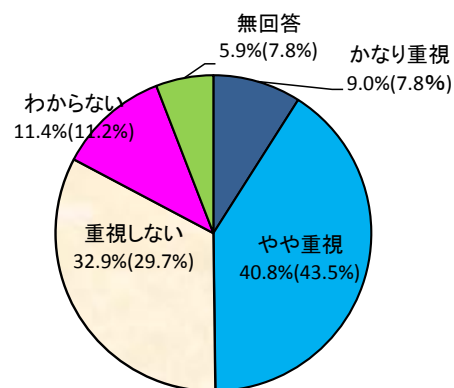
トップは「やや重視する」で45.1%、次いで「重視しない」が28.8%と、ほぼ前年同様の結果となった。

規模別の経営上の重視点

【役員・議員】



【小規模企業】



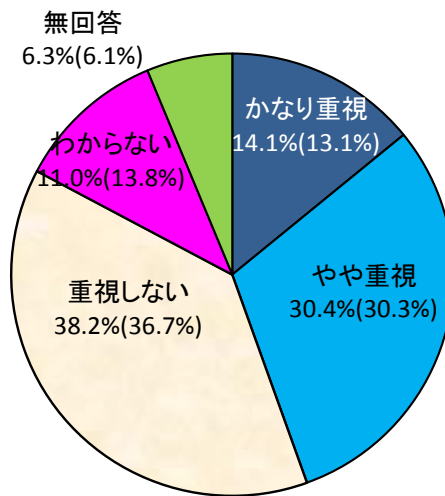
「(かなり・やや)重視する」の割合は、【役員・議員】が81.3%であるのに対し、【小規模企業】は49.8%で、その差は31.5ポイントと依然として大きな開きがある。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

<新分野への進出> トップは「重視しない」 38.2%

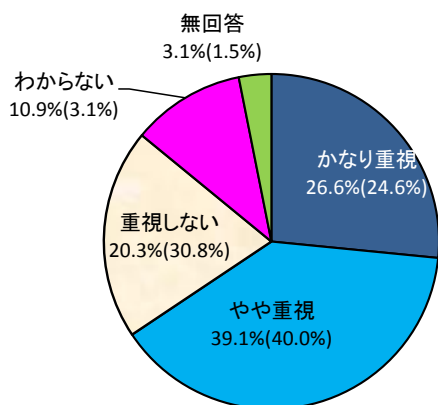
【全体】



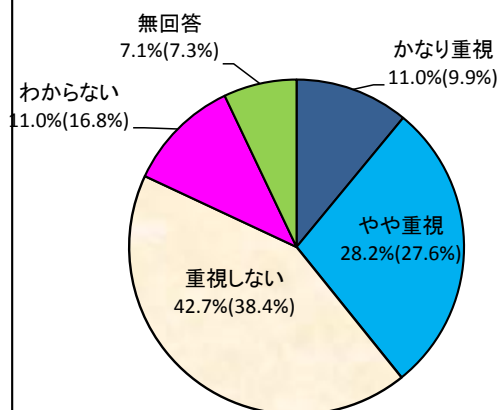
「重視しない」が38.2%でトップ、次いで「やや重視」30.4%、「かなり重視」が14.1%と前年と大きな変化は見られなかった。

規模別の経営上の重視点

【役員・議員】



【小規模企業】



「(かなり・やや)重視する」の割合は【役員・議員】が65.7%であるのに対し、【小規模企業】は39.2%で、その差は26.5ポイントと依然として大きな差がある結果となった。

2016年経済予測アンケート

景気

Q1 景気の現状について昨年（2014年）11月と比較して、どのように感じてもらえますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) かなり好転 (2) やや好転
 (3) 変わらない (4) やや悪化
 (5) かなり悪化 (6) わからない
 (7) その他 ()

Q2 県内の景気動向についてお尋ねします。本格的な景気回復の時期は、いつ頃からと思われますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) 既に回復している (2) 2016年上期から回復
 (3) 2016年下期から回復 (4) 2017年から回復
 (5) 2017年以降に回復 (6) わからない
 (7) その他 ()

産業全体

Q3 現在（2015年11月）の業況水準を基準に、2016年の県内の各産業別の見通しについて、どのように予測されますか。□欄に○印をお付け下さい。（自社以外の業種についてもご回答をお願い致します。）

	かなり好転する	やや好転する	変わらない	やや悪化する	かなり悪化する	わからない
1. 全業種						
2. 製造業						
3. 建設業						
4. 運輸・通信業						
5. 卸売・小売業						
6. 飲食業						
7. 金融・保険業						
8. サービス業						

（※1～8の全ての業種に該当箇所のチェックをお願い致します。）

円市場

Q 4 - 1 現在（2015年11月上旬）の為替水準を基準に、2016年の円市場の見通しについて、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考 東京外国為替 円(1ドル=円) (11月6日)

[始値] 121.74 [高値] 123.26 [安値] 121.60 [終値] 123.13

- (1) かなり円安傾向が進む (2) やや円安傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや円高傾向に進む
(5) かなり円高傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

Q 4 - 2 貴社にとって望ましい為替水準はいくらですか？
ご記入をお願いします。

(1ドル= 円)

株式市場

Q 5 - 1 2016年の株式市場の見通しについて、現在（2015年11月上旬）の株式市場の水準を基準に、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考 国内株式 日経平均(円) (11月6日)

[始値] 19,194.34 [高値] 19,294.15 [安値] 19,164.86 [終値] 19,265.60

- (1) かなり株安傾向が進む (2) やや株安傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや株高傾向に進む
(5) かなり株高傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

Q 5 - 2 貴社にとって望ましい株価水準はいくらですか？
ご記入をお願いします。

(円)

金利

Q 6 2016年における金利の見通しについて、今年（2015年11月上旬）の金利水準を基準に、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) かなり低金利傾向が進む (2) やや低金利傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや高金利傾向に進む
(5) かなり高金利傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

経営の問題点

- Q 7 2016年における貴社の経営上の問題点を、どのように予測されますか。
該当する番号を○でお囲み下さい。(3項目以内)
- (1) 需要の停滞 (2) 取引条件の悪化
 (3) 金利負担の増加 (4) 人件費の増加
 (5) 原材料価格の上昇 (6) 材料費・人件費以外の経費の増加
 (7) 販売・利用価格の上昇難 (8) 消費税増税に伴う価格転嫁難
 (9) 従業員の確保難 (10) 大型店,競合店の進出による競争の激化
 (11) 事業資金の借入難 (12) IT化への対応難
 (13) ニーズ変化への対応難
 (14) その他 ()

経営の重視点

- Q 8 2016年に貴社の経営上、重視される点についてどのように予測されますか。なお、本問では回答集約の都合上、選択肢を下記の6項目に限定させて頂いております。該当の□欄に○印をお付け下さい。

	かなり重視する	やや重視する	重視しない	わからない
1. 売上高 (完工高、取扱高)				
2. 収益				
3. マーケティング 販路開拓				
4. 人材育成				
5. IT化の推進				
6. 新分野への進出				

コメント

熊本経済の発展に向けて、必要なこと、期待すること、また望まれる経済対策などについて、ご意見、ご提言等ございましたら、ご自由にご記入願います。

ご協力ありがとうございました。

熊本商工会議所 会員サービス部 情報調査課

TEL 096-354-6688 FAX 0120-268-343 / 354-8890